



# 福島県公立学校 教職員現職教育計画

# 2021

福島県教育委員会



# 序

県教育委員会では「頑張る学校応援プラン」にある5つの主要施策を推進するとともに、これまでの成果と課題、子どもたちを取り巻く現状等を踏まえ、次期県総合教育計画の策定を進めてまいりました。令和3年度も、未来を担う子どもたちが将来への希望や生きる喜びを実感できるよう、ふくしまならではの教育をさらに推進してまいります。

さて、本県の現職教育につきましては、本プランの主要施策2「教員の指導力、学校のチーム力の最大化」の取組の中に、教員研修の質的充実を位置付けており、平成29年12月には、教員等が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確にした「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を策定し、教職員が研修を通じ、自らを省察しながら資質の向上を図り、より高い自律心と倫理観を持ち、専門性を高め、実践的指導力を向上させることとしています。また、学習指導要領のキーワードの一つとなっている、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、アクティブ・ラーナーとしての教員を目指すため、校内研修の実質化を図るとともに、教育センター等の研修についても、より能動的なものへ充実、深化させてまいります。これらの取組がこの教職員現職教育計画に反映されることにより、教員研修の質的充実が一層図られるものと考えます。

子どもたちの学びの質を高めるためには、教職員が学習過程全体を見通して指導に当たることや教員自身が指導方法を不断に見直し、改善していくことが必要です。

各学校や関係機関においては、教職員の資質・能力の向上や教育課題の解決を図るために、本計画に基づき現職教育を積極的に推進するとともに、本県教育のさらなる充実・発展のため、より一層尽力くださいますようお願いいたします。

令和3年3月

福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一



# 〈 目 次 〉

## I 教職員研修計画

1	はじめに	2
2	教職員研修の構想	2
3	福島県版■校長及び教員としての資質の向上に関する指標	3～ 9
4	教職員研修の体系	
(1)	基本研修	1 0
(2)	職能研修	1 0
(3)	専門研修	1 1
(4)	特別研修	1 1
(5)	校内現職研修	1 1
(6)	研 究	1 1
	【福島県現職教育体系図】	1 2
	【福島県教職員研修体系図】	1 3
5	市町村教育委員会が行う研修	1 3
6	指標に基づく研修計画	1 4～1 8
7	研修事業計画	
(1)	基本研修	1 9～2 4
(2)	職能研修	2 5～3 0
(3)	専門研修	3 1～4 1
(4)	特別研修	4 2～4 8

## II 研究学校（地区）指定計画

1	はじめに	4 9
2	研究学校（地区）指定計画の構想	4 9
3	研究学校（地区）指定事業計画	5 0

## III 予定刊行物

- ・ 義務教育課主管 予定刊行物
- ・ 義務教育課・高校教育課主管 予定刊行物
- ・ 教育センター主管 予定刊行物
- ・ 特別支援教育センター主管 予定刊行物

## IV その他の研修

- ※ 教職員現職教育担当者会議設置要綱
- ※ 参考資料

# I 教職員研修計画

## 1 はじめに

県教育委員会では、教職員の資質や指導力の向上を図るため、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえて「福島県公立学校教職員現職教育計画」を策定し、体系的、計画的な研修を実施します。

研修体系においては、初任者研修を起点として、教職の全期間を通じて適切な時期に基本研修・職能研修・専門研修・特別研修を教職員の経験や職能に応じて、継続的、発展的に実施するとともに、各校の校内現職研修の充実を図り、教職員の資質や指導力の向上に努めることとしています。

基本研修においては、研修の効果的な運営を図り、教員としての高い倫理観や自律心など、資質の向上の内容を重視します。

また、職能研修や専門研修では、情報化に対応した各種研修、児童生徒理解を深める学校教育相談研修、組織マネジメント研修、特別支援教育コーディネーター研修などのように、今日的な教育課題に対応するとともに、より実践的な研修の創設や見直しに努め、現職教育の一層の充実を目指しています。

本計画では教職員研修計画のほか、研究学校（地区）指定計画、予定刊行物を掲載しています。研究学校（地区）指定計画は、創意ある教育活動の推進のために先導的な研究を行っている学校（地区）の紹介及びその研究成果の普及を図るものであり、予定刊行物は、令和3年度に関係課・教育センター・特別支援教育センターで発刊を予定している刊行物を掲載したものです。

## 2 教職員研修の構想

教職員研修計画は、教職員の資質や指導力の向上を目指し、教育公務員特例法第21条及び第22条に基づき、本県における公立学校教職員を対象として行う研修について、その体系的、効果的推進を図るため策定するものです。

研修計画の策定に当たっては、次に掲げる基本方針により構想するものです。

- (1) 教員自らが、豊かな人間性と魅力ある人格の陶冶を成し得るとともに、教育愛と使命感に裏付けられた深い専門性と優れた指導技術を習得し得る研修の機会を設けること。
- (2) すべての教職員が初任者研修を起点として、その後の教職歴における一定の時点ごとに必要とされる研修の機会を設けること。
- (3) 関係課・教育センター・特別支援教育センターが所管する各種研修会の相互の有機的な関連や自己研修・校内研修も含めた研修の一貫性を図ること。

### 3 福島県版■校長及び教員としての資質の向上に関する指標

本指標は、教育公務員特例法の改正により、教員の任命権者に策定が義務づけられた「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」であり、県教育委員会が関係大学との協議等を経て策定したものです。また、同法で定められた指標に基づく研修計画が、「福島県公立学校教職員現職研修計画」です。

本県では、教員等が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき指標として、下記の4つの領域、14項目を設けています。また、教員のキャリアや長所、特性などに応じて、着任時の姿から管理職までの6つのステージを設定し、教員が研修を通じて自らを省察し、資質の向上を図る際の目安としています。

#### (1) 指標の領域（Ⅰ～Ⅳ）及び項目（1～14）

##### Ⅰ 教員としての素養

- 1 使命感・情熱・向上心
- 2 幅広い教養や社会性・確固たる倫理観
- 3 本県の教育課題への理解と対応

##### Ⅱ 授業づくりと学びの創造

- 4 授業構想
- 5 指導方法・指導技術
- 6 学習状況の把握と評価

##### Ⅲ 児童生徒の理解と指導

- 7 児童生徒理解
- 8 望ましい集団づくり
- 9 生徒指導上の諸課題への対応
- 10 特別な支援を必要とする児童生徒への対応

##### Ⅳ 教職員の協働と学校づくり

- 11 同僚性の構築
- 12 学校組織の運営
- 13 学校と家庭・地域との連携
- 14 学校安全への対応

#### (2) ステージ

ステージ0	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	ステージ5
福島県が求める着任時の姿	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期Ⅰ	深化発展期Ⅱ
	概ね1～5年目	概ね6～10年目	概ね11年目～	熟練した教員	管理職

# 福島県版 ■ 校長及び教員としての資質の向上に関する指標について

平成29年12月  
福島県教育委員会

## 指標の趣旨

- 教育公務員特例法第22条の3に定められている「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」
- 教員等が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確化したもの
- 本指標により画一的な教員像を求めるものではなく、教員に求められる基礎的、基本的な資質・能力を確保し、各教員の長所や個性の伸長を図る
- 教員の人事評価と趣旨・目的が異なるものであるため、本指標に基づく評価は行わない

教員	職責、経験、長所や個性に応じてより高度な段階を目指すための手掛かり
	研修等を通じ、自らを省察しながら資質向上を図る際の目安

教委	指標を踏まえた研修計画の作成による校長及び教員の計画的・効果的な資質向上
	本県教員を目指す者が身に付けるべき資質を示すことによる優秀な教員の採用

大学	指標に示す着任時の姿を目指した教員の養成
	教職大学院等における教員の資質向上のための指針

## 指標の対象者

- 校（園）長及び教育公務員特例法第2条第2項に定める「教員」を対象とする  
 [ 公立学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、  
 主幹保育教諭、保育教諭及び講師（任用の期限を付されて採用されている者を除く） ]

## 領域及び項目

- I～IVの4領域に対応する14項目を設定
- 平成19年に、福島大学が県教育委員会と連携したプロジェクトにおいて策定した「福島の教員スタンダード」を、領域及び項目を検討する上で参考とした
- 指標に用いた観点や用語等については、学習指導要領、生徒指導提要等の国の資料等のほか、頑張る学校応援プラン、授業スタンダード等の県教育委員会の資料等を参考とした
- 東日本大震災後経験を踏まえ、「本県の教育課題への理解と対応」（項目3）や、「学校安全への対応」（項目14）を、指標の項目として設定した
- 指標の表記をできるだけ簡潔にするため、指標を補うための「各項目の解説」を別途作成した

領域	I 教員としての素養	II 授業づくりと学びの創造
	III 児童生徒の理解と指導	IV 教職員の協働と学校づくり

領域	項目	領域	項目
I	1 使命感・情熱・向上心	III	7 児童生徒理解
	2 幅広い教養や社会性・確固たる倫理観		8 望ましい集団づくり
	3 本県の教育課題への理解と対応		9 生徒指導上の諸課題への対応
II	4 授業構想		10 特別な支援を必要とする児童生徒への対応
	5 指導方法・指導技術	IV	11 同僚性の構築
	6 学習状況の把握と評価		12 学校組織の運営
	13 学校と家庭・地域との連携		
	14 学校安全への対応		

## ステージ

- 「福島県が求める着任時の姿」と「管理職」を加え、6つのステージ（成長過程）を設定した
- 各ステージの終了までに身に付けるべき資質等を各ステージの指標に示した
- ステージ1【基礎形成期】（概ね1～5年目）及びステージ2【資質成長期】（概ね6～10年目）、ステージ3【資質充実期】（概ね11年目～）については、悉皆研修のある経験年数でステージを区切った
- ステージ4【深化発展期Ⅰ】については、教員の多様なキャリアパスや、教員自身の個性を生かしながら資質の向上を図ることができるよう、概ねの経験年数を示していない

## ステージごとの指標策定の観点

ステージ0 福島県が求める 着任時の姿	ステージ1 【基礎形成期】 概ね1～5年目	ステージ2 【資質成長期】 概ね6～10年目	ステージ3 【資質充実期】 概ね11年目～	ステージ4 【深化発展期Ⅰ】 熟練した教員	ステージ5 【深化発展期Ⅱ】 管理職
大学卒業レベル	基本の習得			個性の伸長・多様なキャリアパス	
← 個人・学級レベル →		← 学年レベル →		← 学校レベル →	
				← 外部との関わり →	

## 指標策定の経緯

- 平成 29 年 4 月 教育公務員特例法の一部を改正する法律が施行され、教員の任命権者は関係大学等とで構成する協議会を組織し、「校長及び教員としての資質向上に関する指標」（以下、「指標」という。）に関する協議を行い、指標を策定するとともに、指標を踏まえた研修計画を定めることとされた
- 平成 29 年 6 月 「福島大学と福島県教育委員会による連携協議会」（以下、「協議会」という。）を設置し、その中に設けた「教員育成ワーキンググループ」（以下、「WG」という。）において指標に関する協議を行うこととした
- 第 1 回WGにおいて、指標の策定方針について協議した
- 平成 29 年 8 月 第 2 回WGにおいて、県教育委員会が示した指標（案）について協議した
- 平成 29 年 9 月 県内各市町村、校長会、教職課程を設置している大学に指標（案）について意見照会を行った
- 平成 29 年 11 月 第 3 回WGにおいて、意見照会の結果も参酌した上で、協議会としての最終案を作成した
- 平成 29 年 12 月 教育委員会会議において決定した

## 【参考】教育公務員特例法の一部を改正する法律

### 校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針（第22条の2）

文部科学大臣は、公立の小学校等の校長及び教員の計画的かつ効果的な資質の向上を図るため、校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針を定めるものとする

### 校長及び教員としての資質の向上に関する指標（第22条の3）

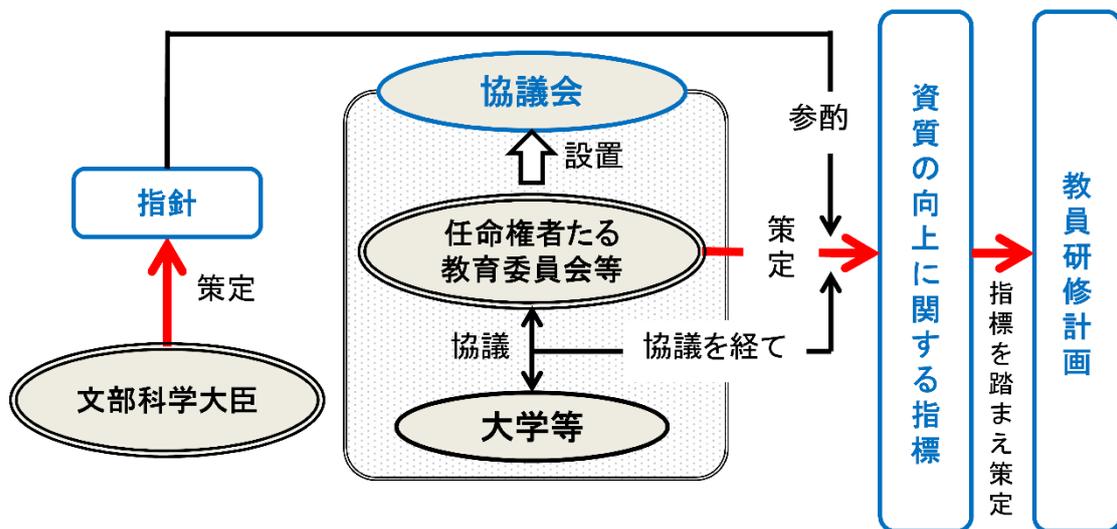
公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該校長及び教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する指標を定めるものとする

### 教員研修計画（第22条の4）

公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指標を踏まえ、当該校長及び教員の研修について、毎年度、体系的かつ効果的に実施するための計画を定めるものとする

### 協議会（第22条の5）

公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指標の策定に関する協議並びに当該指標に基づく当該校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項についての協議を行うための協議会を組織するものとするとともに、協議会は、指標を策定する任命権者及び公立小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する大学等をもって構成するものとする



## 各項目の解説

I 教員としての素養	1	使命感・情熱・向上心	教育公務員はその職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努め、自己の取組を省察しながら能力を高めるために学び続ける必要がある。
	2	幅広い教養や社会性・ 確固たる倫理観	教育は、児童生徒及び保護者との信頼関係の上に成り立っており、教職員一人一人の「社会性」や「確固たる倫理観」、「豊かな人間性」が重要である。また、学校だけに留まらずに視野を広げるため、教員自身のライフ・ワーク・バランスの視点も重要である。
	3	本県の教育課題 への理解と対応	本県の教育課題を解決するため、課題を理解した上で本県ならではの教育を推進する必要がある。 ※「頑張る学校応援プラン」（平成29年3月策定）を参照のこと
II 授業づくりと学びの創造	4	授業構想	「授業」には、特別の教科道徳や総合的な学習の時間、学級活動（ホームルーム活動）なども含まれており、学校には言語能力の確実な育成や、理数教育、統計教育、情報モラル教育、伝統や文化に関する教育、主権者教育、消費者教育、防災・安全教育、健康教育、国際理解教育、産業教育、ふるさと学習など、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための組織的なカリキュラム・マネジメントや、主体的・対話的で深い学びなどの視点からの授業改善が必要である。
	5	指導方法・指導技術	学習指導要領等を始め、最新の教育課題、国や県、市町村などの教育施策、地域や勤務校の実態や児童生徒の状況などを踏まえながら、教科や職種等に応じた専門性を高めることが重要である。
	6	学習状況の把握と評価	学習評価を通じて、学習指導の在り方を見直すことや個に応じた指導の充実を図ること、学校における教育活動を組織として改善することが重要である。
III 児童生徒の理解と指導	7	児童生徒理解	児童生徒の発達段階に応じた様々な悩みや、発達障がいを含む障がい、日本語指導が必要な児童生徒、性に対する多様な考え方、児童生徒の将来の夢や希望（キャリアプラン）などに対する個を尊重したきめ細かな理解と指導のほか、自己有用感を高めることによる予防・開発的な指導が必要である。
	8	望ましい集団づくり	学級や学年、部活動などの比較的大きな集団のほか、授業時にその都度構成されるグループや、清掃班など、校内で組織される大小さまざまな集団の特性に合わせた指導が必要である。
	9	生徒指導上の諸課題 への対応	不登校、いじめや暴力、非行や逸脱行動等の生徒指導上の諸課題に対し、組織的かつ適切に対応する必要がある。
	10	特別な支援を必要とする 児童生徒への対応	「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進に向け、「個別的教育支援計画」の作成率と「特別支援教育に関する校内研修」の実施率100%を目指し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実などを図る必要がある。
IV 教職員の協働と学校づくり	11	同僚性の構築	今後10年間で約半数の教員が退職する大量退職時代を迎えるに当たり、ベテラン、中堅、若手がこれまで以上に連携し、子どもの成長を支え続けた教員の実践を次世代に繋げる必要がある。
	12	学校組織の運営	校長のマネジメントの下、様々な年代の教職員が協働し、業務の適正化に向けた提案や取組を積極的に行う職場環境づくりを推進する必要がある。
	13	学校と家庭・地域 との連携	P T A、学校評議員、地域学校協働本部など、学校と家庭・地域が協働して設置している組織のほか、異校種間の連携を深めるなど、地域の様々な機関等との連携により、学校、家庭、地域が一体となった教育が必要である。
	14	学校安全への対応	東日本大震災及び原子力発電所事故の経験を踏まえて、児童生徒の安全確保や、関係機関、保護者などとの連携の重要性を、次世代に繋げる必要がある。

# 福島県版 ■ 校長及び教員としての資質の向上に関する指標

平成29年12月 福島県教育委員会

領域	ステージ	ステージ0 福島県が求める 着任時の姿	ステージ1 【基礎形成期】 概ね1～5年目	ステージ2 【資質成長期】 概ね6～10年目	ステージ3 【資質充実期】 概ね11年目～	ステージ4 【深化発展期Ⅰ】 熟練した教員	ステージ5 【深化発展期Ⅱ】 管理職
項目	項目	初任者研修	経験者研修Ⅰ	経験者研修Ⅱ	個性や持ち味の尊重 多様なキャリアパス		
I 教員としての素養	1 使命感・情熱・向上心	(児童生徒に対する人権意識) 児童生徒に対する人権意識を持ち、愛情を持って接することができる。 (教職への意志と情熱) 教員としての役割を十分自覚し、確固たる教職への意志と情熱を持っている。 (教育法令の理解、社会性) 教育に関する法令を概ね理解しているとともに、一般常識や社会性を身に付けている。	(意欲的な職務遂行) 自己の教育実践を省察しながら、資質を高めるために努力し、意欲的に職務を遂行している。	(主体的な職務遂行) 中堅教員としての自覚を持って自己研鑽し、主体的に職務を遂行している。	(中核としての使命感) 組織の中核としての自覚と使命感を持ち、自ら率先して研究と修養に励んでいる。	(資質向上のための意欲) 校務をつかさどる責任者として、資質向上のため、絶えず研究と修養に努めている。	
	2 幅広い教養や社会性・ 確固たる倫理観	(教育法令の理解、社会性) 教育に関する法令を概ね理解しているとともに、一般常識や社会性を身に付けている。	(社会人としての教養) 広く社会の動きに目を向け、社会人として必要な教養やコミュニケーション能力を身に付けている。 (正しい倫理観、法令・服務規律の遵守) 教育公務員として高い倫理観を持ち、法令・服務規律を遵守している。				(服務倫理についての指導・助言) 教職員に対し、服務倫理についての適切な指導・助言を行っている。
	3 本県の教育課題 への理解と対応	(教育課題の理解) 東日本大震災からの復興・再生を目指す本県の教育課題を概ね理解している。	(本県ならではの教育) 本県独自の資料等を活用し、本県の教育課題の解決に向けた取組を実践することができる。□ ※ 本県の教育課題の解決に向けた取組の例 インベージョン人材の育成、グローバル人材の育成、放射線教育、防災教育、道德教育、				(地域や学校の実態に応じた取組) 地域や学校の実態に応じた取組に向け、本県の教育課題の解決に向けて取組を組織的、計画的に行っている。
II 授業づくりと学びの創造	4 授業構想	(学習指導要領等についての理解) 学習指導要領に記載された内容、授業の基本的な流れ等を概ね理解している。	(単元を見通した授業構想) 単元全体を見通した上で、1年間を見通した上で、評価規準や評価計画を明らかにしている。	(年間を見通した指導計画) 1年間を見通した上で、評価規準や評価計画を明らかにしている。	(カリキュラム・マネジメント) データ等に基づいて指導の成果を評価するとともに、教科横断的な視点を保持して指導計画を修正・改善している。	(教育課程の改善) カリキュラム・マネジメントを適切に行い、教育課程について不始の工夫・改善を行っている。	
	5 指導方法・指導技術	(専門的な知識や技術の獲得) 教科等の専門的かつ最新の知識や技術を身に付けることと必要性を理解している。	(基本的な指導技術の習得) 学習環境、学習規律を整え、ねらいを明確にした授業を身に付けている。	(専門的な知識や技術の習得) 専門的な知識や技術を身に付け、ICTの活用を含む教材・教具の工夫をしている。	(授業形態・指導方法の工夫) 児童生徒の状況や学習課題に柔軟に対応した授業形態や、指導方法を工夫して実践している。	(研究的な態度) 既存の授業の在り方にとらわれず、研究的な態度で新たな視点を取り入れた授業を実践している。	(ステージ等に応じた指導・助言) 教職員のステージや能力・適性などを把握し、適切な指導・助言を行っている。
	6 学習状況の把握と評価	(学習評価への理解) 学習評価が、児童生徒の学力向上のみならず、その指導力向上にもつながることを理解している。	(ねらいと評価項目) ねらいと評価項目を関連付けて授業を行い、授業の改善につなげている。	(指導上のポイント等の把握) 指導上のポイントや、評価や評価方法を捉え、評価に際して指導と評価を個別に対応している。	(指導と評価の一体化) 指導と評価を一体化させることにより、児童生徒の学習力向上に取り組みでいる。	(意欲付けとコーチング) 評価によって児童生徒の意欲を喚起させるようなコーチングスキルを身に付けている。	(組織的な評価研究の推進) 学習評価の妥当性、信頼性を高めるため、組織的に研究を進めている。
7 児童生徒理解	(個性や人格の尊重) 他者の個性・特性や人格を尊重する態度を身に付けている。	(カウセンリングマインド) 児童生徒への日常的な関わりの中で、一人一人の性格や悩み、進路希望などを把握し、児童生徒が安心して相談しやすき雰囲気づくりに努めている。	(的確な実態把握と指導) 様々な情報に基づいて、児童生徒一人一人の実態を総合的に把握するとともに、児童生徒が安心して相談しやすき雰囲気づくりに努めている。	(情報共有、異校種連携) 全校の児童生徒に関する情報共有を推進するとともに、必要に応じて異校種間の連携を図ることができる。 (世代の関心の認識) 児童生徒と、現代の子どもの考えや考え方を理解しようとする。		(相対体制の整備) スクールカウンセラー等も活用し、校内に児童生徒が気軽に相談できる窓口を設け、必要に応じて、相談体制の充実を図っている。	

<p>8 望ましい集団づくり</p>	<p>(集団活動の教育的意義の理解) 集団活動を通して、児童生徒の人間性や社会性が育まれる。</p>	<p>(学級経営等の基本) 学級等の実態を適切に把握し、児童生徒が互いに高め合い、高め合う集団づくりを行うことができる。</p>	<p>(共同的な活動の充実) 学年等、比較的大きな集団において、児童生徒が主体的に取り組む共同的な活動の場を設定し、適切に指導・援助することができる。</p>	<p>(全校的な諸活動等の企画・運営) 全校全体の児童生徒の実態を把握し、効果的な諸活動の企画作成に関わることができる。</p>	<p>(効果的な諸活動の計画作成) 児童生徒の主体的な諸活動の企画作成に関わることができる。</p>	<p>(教育活動全体の視点) 教育活動全体を通じて豊かな人間性・社会性の育成を図ることができるように、教職員に対し指導・助言している。</p>
<p>9 生徒指導上の諸課題への対応</p>	<p>(定義や要因等の理解) いじめや不登校の定義、生徒指導上の諸課題等が起る要因を概ね理解している。</p>	<p>(確実な報告・連絡・相談) 問題行動等の早期発見と迅速な対応を見逃さず、適切に把握し、管理職等に対して適切な情報提供を行うことができる。</p>	<p>(原因把握と適切な指導) 家庭とも連携しながら問題行動等の直接的な原因と背景を的確に把握し、適切な指導を行うことができる。</p>	<p>(未然防止、組織的早期対応) 問題行動等の未然防止に努めた段階で組織的な対応をとることができる。</p>	<p>(体制づくりへの関与) 問題行動等に対し学校全体で対応する体制づくりに積極的な関与ができる。</p>	<p>(組織的な支援体制の整備) 問題行動等に組織的に対応できるように、教職員に対する指導・助言を行っている。  (関係機関等との連携) 関係機関等と円滑に連携することができる。</p>
<p>10 特別な支援を必要とする児童生徒への対応</p>	<p>(障がいの状態や特性の理解) 特別支援教育施策等の動向や、特別な支援が必要な児童生徒の障がい等の状態、特性を考慮した指導・支援を行うことができる。</p>	<p>(生徒理解と指導等の工夫) 児童生徒の行動や環境を把握し、実情に対応した個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成と活用を通して、指導・支援の工夫・改善を行うことができる。</p>	<p>(計画の作成・活用と指導等の改善) 個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成と活用を通して、指導・支援の工夫・改善を行うことができる。</p>	<p>(関係機関等との連携) 特別支援教育コーディネーター等と協力し、保護者や関係機関と連携しながら自立と社会参加に向けて指導・支援の充実を図ることができる。</p>	<p>(校内組織の適切な運営) 校内組織の適切な運営や、教職員の研修を推進するとともに、関係機関等を活用した組織的な支援体制を整備している。</p>	<p>(組織的な支援体制の整備) 校内組織の適切な運営や、教職員の研修を推進するとともに、関係機関等を活用した組織的な支援体制を整備している。</p>
<p>11 同僚性の構築</p>	<p>(協働性) 適切なコミュニケーションを図りながら、集団の中で協働的に行動することができる。</p>	<p>(協力) 管理職等に適切な情報提供を行い、同僚の助言等を聞きながら、協力して職務を円滑に遂行している。</p>	<p>(共通と学び合い) 同僚の課題や悩みを気づき合うとともに、同僚からの学び合いを深めている。</p>	<p>(学び合う雰囲気) 同僚性の重要さを認識し、互いに学び合い、互いに支え合える雰囲気醸成している。</p>	<p>(メンバーとしての自覚) 若手教員を導く役割を自覚し、共感的な人間関係を構築しながら、同僚を積極的に支援している。</p>	<p>(風通しよい職場づくりの構築) 積極的に教職員と関わり、ことにより職場のコミュニケーションを活性化し、風通しのよい職場づくりを推進している。</p>
<p>12 学校組織の運営</p>	<p>(集団の中での役割理解) 集団の中で自分の役割を理解し、自分ができることを実践することができる。</p>	<p>(組織の一員としての自覚) 組織の一員として、自覚を持って、担当する職務分掌の中で自分の職務を確実に遂行している。</p>	<p>(学校経営・運営ビジョンの理解) 学校経営・運営ビジョンを理解し、担当する職務分掌の中で学校教育目標達成のために意欲的に職務を遂行している。</p>	<p>(教育活動の活性化) 学校の課題解決に向けた取組に積極的に関わり、学校全体の教育活動の活性化に寄与している。</p>	<p>(諸計画への関与) 学校全体の諸計画や、課題解決に有効な取組を取り組むことができる。</p>	<p>(学校組織マネジメントの強化) 地域から寄せられる期待や、国・県・市町村の教育施策等を踏まえ、学校の特色や目標等を明確にした学校経営・運営ビジョンを設定し、学校組織マネジメントを強化している。</p>
<p>13 学校と家庭・地域との連携</p>	<p>(連携への理解) 児童生徒のよりよい教育は、学校、家庭、地域の連携の下に成り立つことを理解している。</p>	<p>(信頼関係の構築) 積極的に家庭や地域との接点を持ち、特に保護者との連携を大切にしている。</p>	<p>(積極的な寄与) 学校の枠にとらわれず積極的に寄与することができる。</p>	<p>(積極的な企画・推進) 家庭や地域との調整を図り、家庭や地域と連携した取組の企画・推進に積極的に関与することができる。</p>	<p>(体制づくりの推進) 情報発信に努めながら、家庭や地域との協働的な取組づくりを推進している。</p>	<p>(体制づくりの推進) 情報発信に努めながら、家庭や地域との協働的な取組づくりを推進している。</p>
<p>14 学校安全への対応</p>	<p>(安全への理解) 児童生徒の安全の確保が、すべての教育活動の前提であることを理解している。</p>	<p>(危機管理マニュアルの理解と緊急時を認識したシミュレーション) 危機管理マニュアルを理解し、日頃から安全点検を行い、危険を未然に防止するとともに、緊急時に落ち着いて迅速かつ的確な対応ができるよう常にシミュレーションを行っている。</p>	<p>(改善策の提案) 児童生徒の安全確保の改善を提案するなど、危機管理の核として必要となる意識を持つている。</p>	<p>(改善策の提案) 児童生徒の安全確保の改善を提案するなど、危機管理の核として必要となる意識を持つている。</p>	<p>(改善策の提案) 児童生徒の安全確保の改善を提案するなど、危機管理の核として必要となる意識を持つている。</p>	<p>(日常からの危機管理体制の整備) 危機管理マニュアルを教職員に周知することや、関係機関等との連携を深めることにより、危機管理体制の整備を行うなど、平常時から危機管理意識を持った安全対策等を講じている。</p>

Ⅲ 児童生徒の理解と指導

Ⅳ 教職員の協働と学校づくり

## 4 教職員研修の体系

### (1) 基本研修

#### ① 初任者研修について

現職研修の第一段階として、新任の教員に対し実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得させるため、初任者研修を採用の日から1年間にわたり実施します。

なお、養護教諭・学校栄養職員等の新採用時に行う研修も同様の趣旨に沿って、それぞれの計画に基づいて実施します。

#### ② 2年次教員フォローアップ研修について

初任者研修を修了した教員に対して、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質・能力へと高めるため、その後1年間の研修を実施します。

#### ③ 5年経験者研修について

2年次教員フォローアップ研修に引き続き、在職期間が5年に達した教職員に対して行うもので、5年の経験を基盤に、教科指導や生徒指導等の力量の向上を図るとともに、社会の変化に対応した教育課題等について実践的な研修を進めます。

#### ④ 中堅教諭等資質向上研修について

在職期間が10年に達した教職員は、校内外において学校教育活動の実践的な場で中核的立場を占める位置にあり、さらに、それまでの実績に裏打ちされた新たな視点、力量の向上、指導法の工夫改善が必要となる時期でもあります。そのため、10年の経験を基盤に、教科指導や生徒指導等、職責遂行上必要な専門的知識・技能等の資質・能力の向上を図るとともに、教科経営、学級・学年経営、校務分掌のリーダーとしての力量の向上を図ります。

#### ⑤ 中核教諭研修について

初任者研修、2年次教員フォローアップ研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修の内容を踏まえ、経験15年程度の実績等に留意し、教員個々の専門的知識・能力の深化や伸長を図るとともに、学級・学年経営等、全校的視野での教育活動の中核的立場として、広い視野に立った教育実践について力量の向上を図るため、各種の研修会等を中核教諭研修として位置付けて行います。

### (2) 職能研修

#### ① 職能研修Ⅰについて

職能研修Ⅰは、新任の校長・副校長・教頭・主幹教諭・教務主任等に対して行う研修であり、学校経営等、教育活動の統括的役割について、その資質・能力の向上を図ります。

#### ② 職能研修Ⅱについて

学校の実態に応じた教育課程や諸教育活動が展開されるよう、校内の個々の教職員の役割分担や協力体制を築くため、個々の教職員の職責・職能に応じた教育活動に関する研修を職能研修Ⅱとして組織的に行います。

また、その際、研修内容等について重複したり、同一教職員の多重参加等がないよう、実施方法、研修内容等について毎年度見直しを行い、研修の精選、重点化を図り、研修が発展的に行われるよう配慮します。

③ 職能研修Ⅲについて

現職の校長・教頭等に対して行う研修であり、役職として求められる資質・能力を高めることを目的とします。

(3) 専門研修

① 専門研修Ⅰについて

専門研修Ⅰとして、教育課程の改善等、学校教育の基盤となる事項について研修を行い、教育課程実施上の諸問題に関する専門的な研修を中心に実施します。

② 専門研修Ⅱについて

専門研修Ⅱとして、実践を土台とした各種の研修・研究を行います。

また、個に即応した指導力の向上を図るほか、社会の変化に対応した教育活動の実践に資するため、各種の研修会の機会を充実させ、個々の教員の教育課題の解決を図るなど、多様な研修を設定します。

③ 専門研修Ⅲについて

専門研修Ⅲは、教科等の指導力の深化や専門的な研究のほか、全校的視野や経営的視点での学校教育の充実を図るための研修です。特に、学校教育の指導的立場にある者の力量の向上を図るものであり、研修成果の発表等を通して各学校の教育活動に資するよう配慮します。

(4) 特別研修

教員を大学及び大学院、文部科学省主催の研修、各種教育関係機関及び企業等の社会第一線の研究・開発等の機関、海外に派遣して行う研修です。

(5) 校内現職研修

教員研修の基盤として、各学校において計画的、実践的に行う研修です。校内研修の実施にあたっては、各学校の教育目標を十分踏まえ、かつ、地域や児童生徒の実態等を考慮しつつ、組織的に計画、実施し、十分な評価を行うことが重要です。

校長及び教員は、校内研修が校内の課題の解決と教員個人の教育力を高める上で基盤となるものであることに留意し、その活性化のため一層努力をする必要があります。

(6) 研究

① 指定研究

県・各学校・地域の課題に応じ、研究テーマを設定し、総合的、先導的な実践・研究を深め、その成果を全県的に普及し、学校教育の充実・活性化に資するため、指定研究を行います。

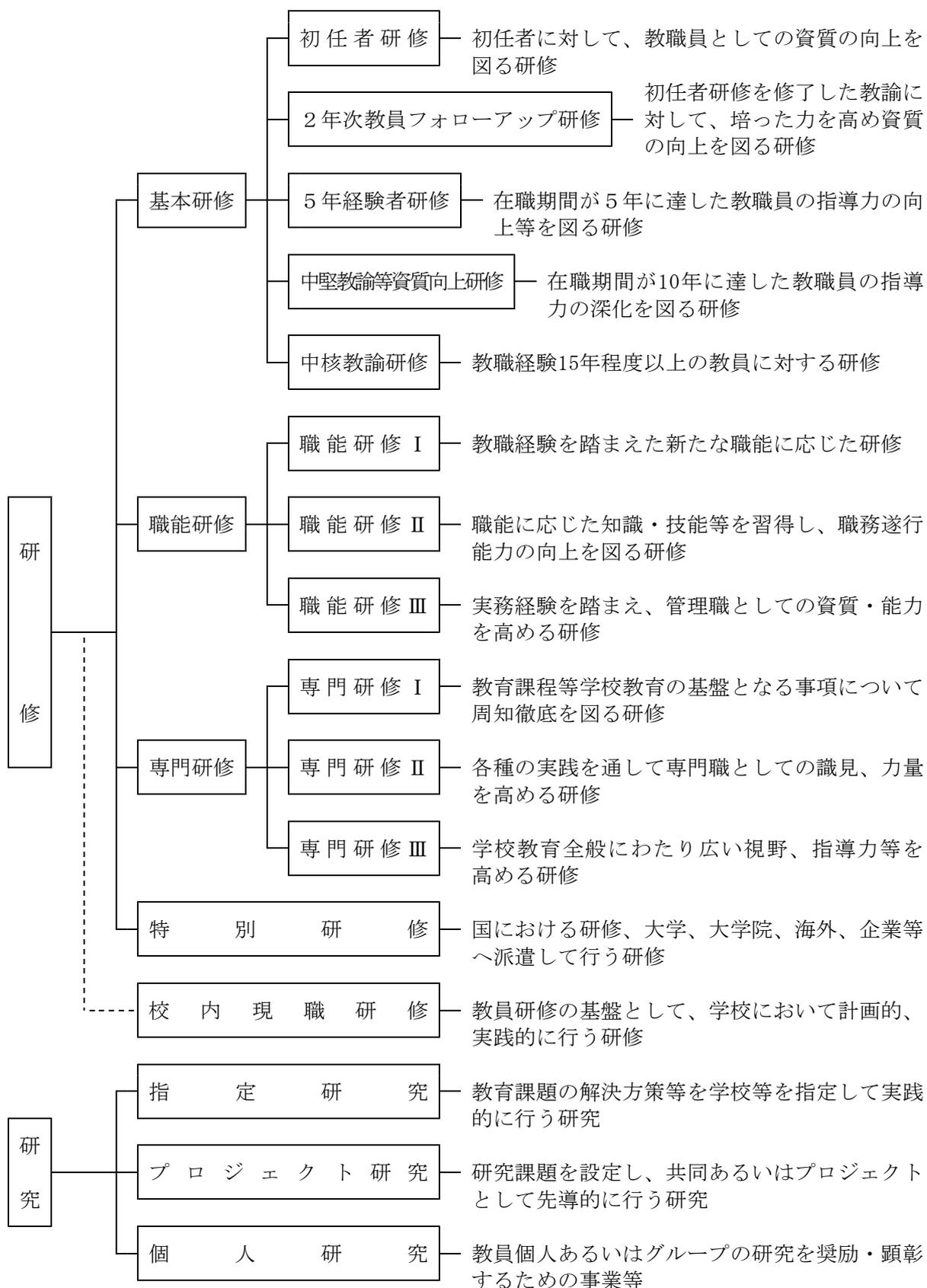
② プロジェクト研究

社会の変化や時代の要請等に対応した教育課題の解決に実践的、研究的に取り組むため、教育センター等において、教育課題解決のための先導的研究等を行い、学校教育活動の充実・発展に資するため、プロジェクト研究を行います。

③ 個人研究等

教員の個人あるいはグループの研究及び課題解決の努力や取組を奨励し、顕彰するため、教職員の研究論文の募集等を行い、実践的な教育研究を支援します。

【福島県現職教育体系図】







◎特に向上を目指す資質・能力 ○向上を目指す資質・能力

分類	No.	研修名・講座名	キャリアステージ					I 教員としての素養			II 授業づくりと学びの創造			III 児童生徒の理解と指導				IV 教職員の協働と学校づくり				所管		
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14			
			基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期I	深化発展期II	使命感・情熱・向上心	教養や社会性・倫理観	本県教育課題理解・対応	授業構想	指導方法・指導技術	学習状況の把握・評価	児童生徒理解	望ましい集団づくり	生徒指導課題への対応	特別な支援への対応	同僚性の構築	学校組織の運営	家庭・地域との連携	学校安全への対応			
職能研修	9	基礎力アップ研修	●					◎	◎									◎	◎			義務教育課		
	10	応用力アップ研修		●				◎	◎									◎	◎	◎				
	11	実行力アップ研修			●			◎	◎									◎	◎	◎				
	12	新任係長研修				●		◎	◎									◎	◎					
	13	学校安全指導者養成研修				●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		健康教育課	
	14	健康教育推進者研修会	●	●	●	●		○	○	◎		◎		○		○		○	○					
	15	新規採用栄養教諭研修		●				◎	○	◎	○	○	○		○	○				○				
	16	栄養教諭食育推進研修会			●					◎	○	○	○						○	◎				
	17	教育支援協議会					●										◎		◎	○			特別支援教育課	
	18	県立特別支援学校医療的ケア実施教員研修会		●	●			○					◎		○		◎			○	○			
	19	県立特別支援学校生徒指導担当者連絡協議会		●	●			○	○	◎				○		◎	○				○	○		
	20	複式指導(国語・算数)担当教員研修会	●	●	●	●		◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○				教育センター	
	21	免許外教科担任教員研修会	●	●	●	●	●					◎	◎	◎			◎							
	22	校長のためのマネジメント講座					●	◎	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	23	教頭のためのマネジメント講座					●	◎	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	24	小・中学校におけるキャリア教育実践講座			●	●		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	25	養護教諭専門研修講座	隔年実施 令和3年度は実施しない																					
	26	学校栄養職員専門研修講座				●		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	27	特別支援学級等新任担当教員研修会	●	●	●	●	●	◎		◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎			◎			特別支援教育センター
	28	特別支援学級担当教員(経験三年)研修会	●	●	●	●	●	◎		◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎				
	29	小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会	●	●	●	●	●	◎		◎				◎		○	◎	○	◎	○	◎	◎		
	30	高等学校特別支援教育コーディネーター研修会	●	●	●	●	●	◎		◎		○		◎		○	◎	○	◎	○	◎	◎		
	31	特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会	●	●	●	●		◎		◎				◎		○	◎	○	◎	○	◎	◎		
	32	特別支援学校養護教諭研修会	3年に一度実施 令和3年度は実施しない																					
	33	特別支援学校訪問教育・医療的ケア担当教員研修会	3年に一度実施 令和3年度は実施しない																					
	34	特別支援学校実習助手等研修会		●	●	●		◎	○	○	○	○	◎	◎		○	◎	○	○	◎	○	○		
	35	通級指導教室担当教員研修会	●	●	●	●		◎		○	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	○		○			
	36	特別支援学校教務主任・学部主事研修会		●	●	●	●	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	義高	
	37	福島県公立学校長研修会(地区別研修会)					●	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	専門研修	1	幼稚園教育課程研究協議会			●	●	●			◎		○	○	○			○		◎	○	○	義務教育課	
		2	小学校教育課程研究協議会			●	●	●			◎	○		○	○		○	○		◎	◎	○		
		3	中学校教育課程研究協議会			●	●	●			◎	○		○	○		○	○		◎	◎	○		
		4	高等学校教育課程講習会	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎						◎				高教
		-	特別支援学校教育課程協議会	令和2年度から凍結																				
		5	特別支援学校教育課程運営改善講座		●	●							◎	○	◎				◎		○	◎		特別支援教育課
	6	特別支援学級教育課程研修会	●	●	●	●	●					◎	○	○	○			◎		○	○			

分類	No.	研修名・講座名	キャリアステージ					I 教員としての素養			II 授業づくりと学びの創造			III 児童生徒の理解と指導				IV 教職員の協働と学校づくり				所管	
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
			基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期I	深化発展期II	使命感・情熱・向上心	教養や社会性・倫理観	本県教育課題理解・対応	授業構想	指導方法・指導技術	学習状況の把握・評価	児童生徒理解	望ましい集団づくり	生徒指導課題への対応	特別な支援への対応	同僚性の構築	学校組織の運営	家庭・地域との連携	学校安全への対応		
専	7	幼児教育実技研修会	●	●	●	●	●			◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎					義務教育課	
	-	小学校外国語活動中核者研修	令和2年度から凍結																				
	-	中学校英語担当教員域内研修	令和2年度から凍結																				
専	-	英語教育推進リーダー中央研修参加者による研修	令和2年度から休止																			高教	
	8	地域支援センター特別支援教育研修会	●	●	●					○	◎	◎	◎	◎			◎		○	◎			特支
	9	体育・保健体育指導力向上研修県中央研修	●	●	●	●		○			○	◎	○								○		
10	体育・保健体育指導力向上研修地区別研修	●	●	●	●		○			○	◎	○								○	健康教育課		
11	小・中・高等学校体育担当者連絡協議会	●	●	●	●				○	◎	○	○						○	○	○		健康教育課	
-	ダンス・表現指導者養成研修会	令和2年度から凍結																					
-	学校フォークダンス指導者養成研修会	令和2年度から凍結																					
門	12	「言葉による見方・考え方」を働かせる小学校国語科指導力向上講座	●	●	●	●					○	◎	○									教	
	13	「言葉による見方・考え方」を働かせる中学校国語科指導力向上講座	●	●	●	●					○	◎	○										教
	14	授業改善に結び付く国語科の評価問題作成・研究講座	●	●	●	●					○	○	◎										
15	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた国語科の授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○	○									育		
16	社会的な見方・考え方を働かせた社会科の授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○	○										育	
17	地理歴史科における地理総合・歴史総合の授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○	○											育
18	社会科・地理歴史科・公民科における主権者教育の授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○	○									育		
19	算数科「数学的活動の充実を図る授業づくり」講座	●	●	●						◎	○	○										育	
20	教える授業から子どもが学ぶ授業に変わる数学科授業改善講座	●	●							◎	○	○											育
21	新学習指導要領に対応する単元・授業づくりに生かす数学科評価問題講座	●	●	●	●					○	○	◎									セ		
22	生徒の問題解決や意思決定につながる中学校・高等学校統計授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○	○										セ	
23	理科の見方・考え方やプログラミングを生かした小学校理科講座	●	●	●	●					○	◎	○											セ
24	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた中学校理科講座	●	●	●	●					○	◎	○									セ		
25	高等学校理科観察・実験・授業づくり講座	●	●	●	●					○	◎	○										ン	
26	実習助手のための理科観察・実験講座	●	●	●	●					○	◎	○											ン
27	発問で授業を活性化させる英語指導講座	●	●	●	●					◎	○	○									ン		
28	統合的な言語活動で伸ばすスピーキング・ライティング指導講座	●	●	●	●					◎	○	○										ン	
29	教科書を活用して表現力を高める英語指導講座	●	●	●	●					◎	○	○											ン
30	ICTで変わる音楽の授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○	○									ン		
31	日本伝統音楽のよさを味わう授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○	○										ン	
32	思考力・判断力・表現力を育む器楽指導法講座(ギター編)	●	●	●	●					◎	◎	○											タ
33	楽しみながら力を伸ばす図画工作科指導法講座	●	●	●	●					○	◎	○									タ		
34	創造性を育む図画工作・美術の鑑賞指導法講座	●	●	●	●					○	◎	○										タ	
35	創造性を育む美術の表現指導法講座	●	●	●	●					○	◎	○											タ
36	発想と技法を学ぶ書道実技講座	●	●	●	●					○	◎	○									I		
37	運動が苦手な児童生徒のための体育指導講座	●	●	●	●					○	◎	○			○							I	



◎特に向上を目指す資質・能力 ○向上を目指す資質・能力

分類	No.	研修名・講座名	キャリアステージ					I 教員としての 素養			II 授業づくりと 学びの創造			III 児童生徒の 理解と指導				IV 教職員の協働と 学校づくり				所 管
			1 基 礎 形 成 期	2 資 質 成 長 期	3 資 質 充 実 期	4 深 化 発 展 期 I	5 深 化 発 展 期 II	1 使 命 感 ・ 情 熱 ・ 向 上 心	2 教 養 や 社 会 性 ・ 倫 理 観	3 本 県 教 育 課 題 理 解 ・ 対 応	4 授 業 構 想	5 指 導 方 法 ・ 指 導 技 術	6 学 習 状 況 の 把 握 ・ 評 価	7 児 童 生 徒 理 解	8 望 ま し い 集 団 づ くり	9 生 徒 指 導 課 題 へ の 対 応	10 特 別 な 支 援 へ の 対 応	11 同 僚 性 の 構 築	12 学 校 組 織 の 運 営	13 家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	14 学 校 安 全 へ の 対 応	
			特	1	全国へき地教育研究大会		●	●							◎	◎	◎	◎				
	2	外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修(管理者用コース)			●							◎	◎	◎								
	-	外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修(日本語指導者用コース)	令和3年度から廃止																			
	3	小学校における外国語教育指導者養成研修	●									○	◎	○								
	4	環境教育リーダー研修基礎講座	●	●							○	◎	○									○
	5	豊かな人間性と人づくりを目指す教員体験研修	●	●	●	●	◎	◎											◎	◎	◎	
	6	公立義務教育諸学校教員長期研修	●	●			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	7	人権教育推進研修		●	●	●		○			○	◎		○	○	◎			○	○		
	8	教育相談基幹研修		●	●		◎	○	◎		○			◎	○	◎	◎	○		○	○	○
	9	生徒指導基幹研修		●	●	●	○	○	○					◎	○	◎	○				○	
	10	生徒指導研究推進協議会				●								○	○	◎	○	○	○	○	○	○
	11	幼児教育指導者養成研修		●	●	●			◎		○	◎	◎			○			◎	○	○	
別	12	N I E 全国大会		●	●	●		◎			◎	◎		◎	◎			◎	◎	◎		
	13	全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会		●	●	●	◎	◎	◎	◎	○			◎	○		○		◎	○		
	14	教職員等中央研修①		●	●	●	◎	◎		○	○	○			◎	◎	○	◎	○	○		
	15	教職員等中央研修②		●	●	●	◎	◎										◎				
	16	産業・情報技術等指導者養成研修	●				◎	◎	◎	◎	◎	◎						○	○	○	○	
	17	キャリア教育指導者養成研修	●	●	●	●	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
	18	伝統音楽指導者研修会	●	●	●					○	◎			○								
	19	美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	●	●	●					○	◎			○								
	20	学校組織マネジメント指導者養成研修				●	◎	◎		○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○
	-	言語活動指導者養成研修	令和2年度から廃止																			
	21	道徳教育推進研修	●	●	●	●		○			◎	◎	○	○		○					○	
	-	道徳教育指導者養成研修(ブロック別指導者研修)	令和2年度から廃止																			
研	22	全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座		●	●						○	◎										
	23	全国高等学校農業クラブ指導者養成講座	●	●					○			◎										
	24	体育・保健体育指導力向上研修	●	●	●	●	●	○			○	◎	○									○
	25	体力向上マネジメント指導者養成研修	●	●	●		○				◎	◎	○					○	○	○	○	
	26	食育指導者養成研修		●			○				◎	◎	○						○	○		
	27	健康教育指導者養成研修		●	●		○				◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	学校安全指導者養成研修				●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	29	学校給食の衛生管理に関する指導者講習会	●	●	●		○	◎										○	○		○	
	30	国立特別支援教育総合研究所専門研修	●	●			○		○	○	◎	○	○			◎						
	31	交流及び共同学習推進指導者研究協議会	●	●			○			○		○	○	○	○	◎				○		
	32	特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会	●	●			○				◎		○			◎						
	33	高等学校における通級による指導に関わる指導者協議会	●	●			○			○	◎	○	○			◎						
	34	特別支援学校「体育・スポーツ」実践指導者協議会	●	●			○			○	◎		○			◎						
修	35	就業支援実践研修	●	●			○		○					○		○	◎		○	○		



No.	研修名・講座名		(校種)		(研修予定人数)			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名	
	場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力		
5	<b>新規採用養護教諭研修</b>		(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 28 名			
			S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期					
	(校内における研修)	15日	新規採用の養護教諭に対して、基本的な心構え、養護教諭の職務の基本的事項について理解を深め、専門的知識・実践的指導力及び使命感を養うとともに、幅広い知見を得させ、養護教諭としての資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学校の計画による研修</li> <li>●一般研修(基本研修)、カウンセリング研修、特別支援学校研修、企業等体験・社会奉仕等体験研修、学校訪問研修等</li> <li>●学校教育上の諸問題、教職員の服務・勤務、教科指導・生徒指導の基礎・基本、特別支援教育、放射線・防災教育、体験活動、教員の心構え</li> <li>●専門研修(健康教育の現状と課題、児童生徒の疾病理解、学校における救急処置、教員自身のメンタルヘルス等)等</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)	14日				2 教養等	9 生徒指導	
	○地区別研修A(小・中)(高)	(6日)				3 本県課題	10 特別支援	
	○地区別研修B(小・中)(高)	(2日)				4 授業構想	11 同僚性	
○特別支援教育センター研修(特)	(5日)	5 指導方法				12 組織運営		
○地区別研修(特)	(3日)	6 状況把握				13 家地連携		
○宿泊研修A(小・中・高・特)	6/1-6/3(3日)	《警梯青少年交流の家》	7 子ども理解	14 学校安全				
○宿泊研修B(小・中・高・特)					《教育センター》	11/8-11/10(3日)		
教セ								
6	<b>新規採用学校栄養職員研修</b>		(校種) 小・中・市立特支		(研修予定人数) 2 名			
			S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期					
	(学校等内研修)	15日	新規採用の学校栄養職員に対して、職務を円滑に遂行するため採用年度に研修を行い、専門的知識・実践的指導力及び使命感を養うとともに、幅広い知見を得させ、学校栄養職員としての資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学校等の計画による研修</li> <li>●指導の重点・方針、生徒指導上の諸問題、特別支援学校研修、他校園参観研修、企業等体験研修、給食管理業務、給食指導業務、食事環境の整備・工夫、個別指導の実際、学校・家庭・地域との連携、衛生管理体制の在り方等</li> <li>●学校教育上の諸問題、教職員の服務・勤務、教科指導・生徒指導の基礎・基本、特別支援教育、放射線・防災教育、体験活動、教職員の心構え</li> <li>●専門研修(食に関する指導の実際、学校栄養職員の役割、学校給食の衛生管理・栄養管理、教職員自身のメンタルヘルス等)等</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	
	(学校等外研修)	13日				2 教養等	9 生徒指導	
	○地区別研修A	(4日)				3 本県課題	10 特別支援	
	○地区別研修B	(3日)				4 授業構想	11 同僚性	
○宿泊研修A	6/1-6/3(3日)	《警梯青少年交流の家》				5 指導方法	12 組織運営	
○宿泊研修B								《教育センター》
教セ								
7	<b>特別支援学校初任者研修</b>		(校種) 特支		(研修予定人数) 42 名			
			S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期					
	(校内における研修)	150時間以上	初任者に対し、教育公務員としての心構えを持たせ、特別支援学校の教育内容・方法に関する実践的指導力を養う。また、特別支援教育の担い手としての自覚を持たせるとともに、幅広い知見を得させ、教職員としての資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学校の計画による。 ※指導教員、拠点校指導教員等による指導(児童生徒の障がいの理解、授業参観、研究授業等)</li> <li>●教員としての心構え、服務と勤務、倫理観、特別支援教育の現状、学習指導要領と教育課程、児童生徒理解、障がい児の医療・福祉、発達障がい社会教育、健康教育等</li> <li>●教育課程に分かれた授業研究</li> <li>●他校参観研修、企業等体験研修等</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)	22日				2 教養等	9 生徒指導	
	○宿泊研修	7/28-7/30(3日)				《警梯青少年交流の家》	3 本県課題	10 特別支援
	・一次宿泊							
	○特別支援教育センター等における研修	4/14-4/15(2日)				《コミュニティ福島》	5 指導方法	12 組織運営
	・一般研修							
	・カウンセリング研修	2班 6/9-6/10(2日)				《特支セ/コミュニティ福島》	7 子ども理解	14 学校安全
	・教育課程別研修							
・学部別研修	11/10(1日)							
・地区別研修	4月～3月(10日)							
特セ								
8	<b>新規採用職員研修</b>		(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 17 名			
			S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期					
	(校外における研修)	前期と後期両方受講 前期(4/上旬～5/下旬) 5日間 後期(期間未定) 5日間	自治体職員としての職業意識を確立し、求められる役割を理解する。業務を遂行する上で必要な能力の開発に向けて基本的な知識等の習得を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宿泊研修</li> <li>①自治体職員としての心構え</li> <li>②コミュニケーション能力の育成</li> <li>③マナー・スキルの習得</li> <li>④職員として必要な知識の理解</li> <li>⑤文書事務・法令事務の理解</li> <li>⑥コンプライアンス・不祥事防止</li> <li>⑦ストレス等、健康管理 等</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	
○ふくしま自治研修センター			2 教養等	9 生徒指導				
義務								

② 2年次教員フォローアップ研修

No.	研修名・講座名		(校種)		(研修予定人数)			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名	
	場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力		
9	<b>小学校2年次教員フォローアップ研修</b>		(校種) 小		(研修予定人数) 150 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	(校内における研修)	30時間	初任者研修を修了した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校内研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①教員の資質向上</li> <li>②課題研究</li> <li>③研究授業等</li> </ul> </li> <li>●校外研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①企業等体験研修</li> <li>②教科等指導研修 等</li> </ul> </li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)	3日				2 教養等	9 生徒指導	
○地区別研修	(2日)	3 本県課題				10 特別支援		
○教科等指導研修		4 授業構想				11 同僚性		
	・1班	6/29(1日)			5 指導方法	12 組織運営		
	・2班	7/30(1日)			6 状況把握	13 家地連携		
教セ	(教育センター)				7 子ども理解	14 学校安全		
10	<b>中学校2年次教員フォローアップ研修</b>		(校種) 中		(研修予定人数) 100 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	(校内における研修)	30時間	初任者研修を修了した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校内研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①教員の資質向上</li> <li>②課題研究</li> <li>③研究授業等</li> </ul> </li> <li>●校外研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①企業等体験研修</li> <li>②教科等指導研修 等</li> </ul> </li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)	3日				2 教養等	9 生徒指導	
○地区別研修	(2日)	3 本県課題				10 特別支援		
○教科等指導研修		4 授業構想				11 同僚性		
	(教育センター)	6/30(1日)			5 指導方法	12 組織運営		
					6 状況把握	13 家地連携		
教セ					7 子ども理解	14 学校安全		
11	<b>高等学校2年次教員フォローアップ研修</b>		(校種) 高		(研修予定人数) 41 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	(校内における研修)	30時間	初任者研修を修了した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校内研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①教員の資質向上</li> <li>②課題研究</li> <li>③研究授業等</li> </ul> </li> <li>●校外研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①企業等体験研修</li> <li>②教科等指導研修 等</li> </ul> </li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)	3日				2 教養等	9 生徒指導	
○地区別研修	(2日)	3 本県課題				10 特別支援		
○教科等指導研修		4 授業構想				11 同僚性		
	(教育センター)	7/5(1日)			5 指導方法	12 組織運営		
					6 状況把握	13 家地連携		
教セ					7 子ども理解	14 学校安全		
12	<b>特別支援学校2年次教員フォローアップ研修</b>		(校種) 特支		(研修予定人数) 65 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	(校内における研修)	30時間以上	初任者研修を修了した教諭に対して、福島県公立学校教職員現職教育計画に基づき、その後1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学校、各自の計画による。</li> <li>※教員の資質向上、課題研究、研究授業等</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)	3日				2 教養等	9 生徒指導	
○社会奉仕等体験研修	(2日)	3 本県課題				10 特別支援		
○特別支援教育センターにおける研修		4 授業構想				11 同僚性		
	・教科等指導研修	1班 8/18(1日)			5 指導方法	12 組織運営		
	(コミュニティ福島)	2班 8/20(1日)			6 状況把握	13 家地連携		
特セ					7 子ども理解	14 学校安全		

③ 5年経験者研修

No.	研修名・講座名		(校種)		(研修予定人数)			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名	
	場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力		
13	<b>小学校5年経験者研修</b>		(校種) 小		(研修予定人数) 100 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	(校内における研修)	5日	在職期間が5年に達した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、各教科における授業の改善や道徳教育、総合的な学習の時間及び特別活動の指導、生徒指導、人権教育や健康教育などの研修を深めるとともに、教職員の服務と勤務について研修を行い、その資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校長・副校長及び教頭による講義、授業研究、研修会等への参加</li> <li>●教職員の服務と勤務、教科指導の方法と授業の改善、教員のメンタルヘルス、人権教育、健康教育、放射線・防災教育 等</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)					2 教養等	9 生徒指導	
○教科指導研修		3 本県課題				10 特別支援		
・1班	6/9-6/11(3日)	4 授業構想				11 同僚性		
	・2班	6/15-6/17(3日)			5 指導方法	12 組織運営		
教セ	(教育センター)				6 状況把握	13 家地連携		
					7 子ども理解	14 学校安全		

No.	研修名・講座名		(校種)		(研修予定人数)		名						
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
	場所	期日・日数	目的	内容		資質・能力							
14	<b>中学校5年経験者研修</b>		(校種) 中		(研修予定人数) 40		名						
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
	(校内における研修)	5日	(小学校に同じ) 特に教育センターの研修においては、国・社・数・理・音・美・保体・家・英について、中・高を通じた教科の指導力を高めるため、中・高合同の教科研修の場を設ける。	●校長・副校長及び教頭による講義、授業研究、研修会等への参加 ●教職員の服務と勤務、教科指導の方法と授業の改善、教員のメンタルヘルス、人権教育、健康教育、放射線・防災教育等		1使命感等	8集団づくり						
(校外における研修) ○教科指導研修 ・1班 ・2班 (教育センター)	10/6-10/8(3日) 10/18-10/20(3日)	2教養等				9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握
15	<b>高等学校5年経験者研修</b>		(校種) 高		(研修予定人数) 63		名						
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
	(校内における研修)	5日	在職期間が5年に達した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、教科指導、生徒指導、服務と勤務等について研修を行い、教科担任としての専門的な知見を深めるとともに、その資質の向上を図る。 特に教育センターの研修においては、国・地歴・公・数・理・音・美・保体・家・英について、中・高を通じた教科の指導力を高めるため、中・高合同の教科研修の場を設ける。	●教科指導、特別活動、生徒指導、進路指導、ホームルーム活動、校務運営等 ●教職員の服務と勤務、教科指導の方法と授業の改善、生徒指導・教育相談、教員自身のメンタルヘルス等		1使命感等	8集団づくり						
(校外における研修) ○教科指導研修 ・1班 ・2班 (教育センター)	10/6-10/8(3日) 10/18-10/20(3日)	2教養等				9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握
16	<b>養護教諭5年経験者研修</b>		(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 24		名						
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
	(校内における研修)	3日	在職期間が5年に達した養護教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、現代的な課題に対応するため、健康課題をとらえる力や課題解決のための指導力・実践力を身に付け、専門職としての能力を十分発揮できるよう資質の向上を図る。	●校長・副校長及び教頭による講義、授業研究等、研修会等への参加 ●健康教育の現状と課題、5年経験の養護教諭に望むこと、健康相談の実際、学校における救急処置、学校保健組織活動、保健教育の進め方、情報モラル教育、メンタルヘルス等		1使命感等	8集団づくり						
(校外における研修) (教育センター)	9/28-9/30 (3日)	2教養等				9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握
17	<b>学校栄養職員5年経験者研修</b>		(校種) 小・中・市立特支		(研修予定人数) 10		名						
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
	(校内における研修)	2日	在職期間が5年に達した学校栄養職員に対して、より高度な専門的知識・技能を高める研修を行い、教育的指導力及び資質の向上を図る。	●5年経験学校栄養職員としての心構え、教職員の勤務と服務、特別活動の進め方 ●栄養職員に期待すること、学校給食の栄養管理・衛生管理、食に関する指導の進め方、食育の推進に向けて、情報教育等		1使命感等	8集団づくり						
(校外における研修) (教育センター)	9/21-9/22 (2日)	2教養等				9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握
18	<b>特別支援学校5年経験者研修</b>		(校種) 特支		(研修予定人数) 62		名						
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
	(校内における研修)	5日	在職期間が5年に達した教諭に対して、専門的な知識・能力の深化を図るとともに、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動の指導及び学級経営、生徒指導並びに係諸機関等との連携についても研修を行い、職務遂行能力の向上を図る。特に、教科の指導力を高めるため、教科研修を行う。(中学校・高等学校5年経験者研修への参加)	●各学校、各自の計画による。 ●教職員の服務と勤務、倫理観、教師論、児童生徒理解、授業実践に向けた課題研究、研究授業等 ●授業の改善・充実、学習指導要領と教育課程、発達障がいへの理解、特別支援教育と医療、社会教育等 ●基礎学力の向上を図る教科指導(各教科)の充実に係る研修等 ●各種研究発表会、講習会、教科指導研修参加等		1使命感等	8集団づくり						
(校外における研修) 5年経験者研修全体研修 (特支セ/コミュニティ福島) ①中学校・高等学校教科指導研修 (教育センター) ②研修会等参加研修	6日 1班 6/14-6/16(3日) 2班 6/16-6/18(3日) 1班 ---/-- 2班 ---/-- ①②どちらか(3日)	2教養等				9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握

④ 中堅教諭等資質向上研修

No.	研修名・講座名		(校種)		(研修予定人数)			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名	
	場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力		
19	<b>幼稚園等中堅教諭等資質向上研修</b>		(校種) 幼・こ		(研修予定人数) 20 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
教セ	(園内における研修)	7日以上	在職期間が10年に達した幼稚園等の教諭(保育教諭を含む)に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の向上を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させ、併せて園組織マネジメントに資する能力の育成を図る。	●園内研修 ①保育力の向上に関する研修 ②教育課題の解決に向けた実践に関する研修 ③パイオニア研修(特定課題研修) ●園外研修 ①共通研修 ②保育専門研修 ③社会体験研修 ④選択研修等		1 使命感等	8 集団づくり	
	(園外における研修)	5日以上				2 教養等	9 生徒指導	
	○共通研修	(1日)				3 本県課題	10 特別支援	
	○社会体験研修	(1日)				4 授業構想	11 同僚性	
	○選択研修	(1日以上)				5 指導方法	12 組織運営	
	○保育専門研修	(2日)				6 状況把握	13 家地連携	
	(教育センター)	5/26-5/27(2日)				7 子ども理解	14 学校安全	
20	<b>小学校中堅教諭等資質向上研修</b>		(校種) 小		(研修予定人数) 70 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
21	<b>中学校中堅教諭等資質向上研修</b>		(校種) 中		(研修予定人数) 50 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
教セ	(校内における研修)	15日以上	在職期間が10年に達した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の深化を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させ、併せて学校組織マネジメントに資する能力の育成を図る。	●校内研修 ①授業力の向上に関する研修 ②教育課題の解決に向けた実践に関する研修 ③パイオニア研修(特定課題研修) ●校外研修 ①共通研修 ②教科指導研修 ③生徒指導研修 ④社会体験研修 ⑤選択研修等		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)	10日以上				2 教養等	9 生徒指導	
	○共通研修	(1日)				3 本県課題	10 特別支援	
	○生徒指導研修	(1日)				4 授業構想	11 同僚性	
	○社会体験研修	(2日)				5 指導方法	12 組織運営	
	○選択研修	(3日以上)				6 状況把握	13 家地連携	
	○教科指導研修	小 6/21-6/23(3日)				7 子ども理解	14 学校安全	
	(教育センター)	中 9/28-9/30(3日)						
22	<b>高等学校中堅教諭等資質向上研修</b>		(校種) 高		(研修予定人数) 90 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
教セ	(校内における研修)	15日以上	在職期間が10年に達した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の深化を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させ、併せて学校組織マネジメントに資する能力の育成を図る。	●校内研修 ①授業力の向上に関する研修 ②教育課題の解決に向けた実践に関する研修 ③パイオニア研修(特定課題研修) ●校外研修 ①共通研修 ②教科指導研修 ③生徒指導研修 ④社会体験研修 ⑤選択研修等		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)	10日以上				2 教養等	9 生徒指導	
	○社会体験研修	(2日)				3 本県課題	10 特別支援	
	○選択研修	(3日以上)				4 授業構想	11 同僚性	
	・共通研修	4/16				5 指導方法	12 組織運営	
	・教科指導Ⅰ・生徒指導研修	7/1-7/2				6 状況把握	13 家地連携	
	・教科指導Ⅱ	2/9-2/10				7 子ども理解	14 学校安全	
	(教育センター)							
23	<b>養護教諭中堅教諭等資質向上研修</b>		(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 20 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
教セ	(校内における研修)	4日以上	在職期間が10年に達した養護教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の深化を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させ、組織的に学校保健活動を展開できる能力の育成を図る。	●校内研修 ①教育課題の解決に向けた実践に関する研修 ②パイオニア研修(特定課題研究) ●校外研修 ①共通研修 ②宿泊研修 ③社会体験研修 ④選択研修等		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)	6日以上				2 教養等	9 生徒指導	
	○共通研修	(1日)				3 本県課題	10 特別支援	
	・(小・中)各地区	4/16				4 授業構想	11 同僚性	
	・(高・特)教育センター	(1日)				5 指導方法	12 組織運営	
	○社会体験研修(小・中・高・特)	(1日)				6 状況把握	13 家地連携	
	○選択研修(小・中・高・特)	(1日以上)				7 子ども理解	14 学校安全	
	○宿泊研修(小・中・高・特)(教育センター)	8/2-8/4(3日)						
24	<b>学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修</b> ※令和3年度は実施しない		(校種) 小・中・市立特支		(研修予定人数) ー 名			
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
教セ	(校内における研修)	4日以上	在職期間が10年に達した学校栄養職員に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の向上を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させる。	●校内研修 ①教育課題の解決に向けた実践に関する研修 ②パイオニア研修(特定課題研究) ●校外研修 ①共通研修 ②宿泊研修 ③社会体験研修 ④選択研修等		1 使命感等	8 集団づくり	
	(校外における研修)	6日以上				2 教養等	9 生徒指導	
	○共通研修	(1日)				3 本県課題	10 特別支援	
	○社会体験研修	(1日)				4 授業構想	11 同僚性	
	○選択研修	(1日以上)				5 指導方法	12 組織運営	
	○宿泊研修	(3日)				6 状況把握	13 家地連携	
	(教育センター)	/-(3日)				7 子ども理解	14 学校安全	

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)		名	
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力			
25	<b>特別支援学校中堅教諭等資質向上研修</b>			(校種) 特支		(研修予定人数) 42		名	
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	(校内における研修)	15日以上	在職期間が10年に達した教諭に対して、自己の職務を振り返り、課題を明らかにするとともに、持ち味を生かした実践を通して課題解決に向けた取り組みを行う。また、教員の専門的な知識・能力の深化をはじめ、教育活動全般にわたる広い視野に立った力量の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学校、各自の計画による。</li> <li>●教職員の服務と勤務や倫理観、本県の特別支援教育の現状、教育的かかわりの視点、学習指導要領と教育課程、授業づくり、児童生徒理解、発達障がい等の理解等</li> <li>●教科等指導の実際、個別の指導計画と教科等指導、指導案の作成、協議等</li> <li>●企業・社会福祉施設等での研修</li> <li>●特別支援教育センター、教育センターの専門研修講座の受講</li> <li>●教職員の服務と勤務、児童生徒の行動の理解とかかわり方、授業研究、教材研究、課題研究、学部・学級経営に関する研修等</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり		
	(校外における研修)	10日				2 教養等	9 生徒指導		
	1 共通研修					3 本県課題	10 特別支援		
	①共通研修	1班 6/21-6/23(3日)				4 授業構想	11 同僚性		
	(特支セ/コミュニティ福島)	2班 6/23-6/25(3日)				5 指導方法	12 組織運営		
	2 教科指導					6 状況把握	13 家地連携		
	①教科等指導研修(特支セ)	1班 1/11-1/12(2日)	7 子ども理解	14 学校安全					
		2班 1/13-1/14(2日)							
	3 社会体験								
	①社会体験研修	(2日)							
	4 選択								
	①専門研修	(3日)							
特セ									

⑤ 中核教諭研修

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)		名	
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力			
26	<b>市町村立学校中核教諭研修</b> ※令和3年度は実施しない			(校種) 小・中・市立特支		(研修予定人数) ー		名	
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	教		小・中学校、市立特別支援学校で教育事務所の推薦した教務主任、学年主任、学部主事等の中核教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本県の学校教育の現状と課題、教育課程の編成について、学校の管理運営、生徒理解と生徒指導、研究協議(指導、管理)、キャリア教育、学校組織マネジメントとミドルリーダーの役割、教職員のやる気を引き出すコーチング等</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり		
			※令和3年度は実施しない。			2 教養等	9 生徒指導		
			の諸問題について研修を行い、教員のリーダーとして全校的視野に立った指導力の深化を図る。	3 本県課題	10 特別支援				
				4 授業構想	11 同僚性				
				5 指導方法	12 組織運営				
				6 状況把握	13 家地連携				
				7 子ども理解	14 学校安全				
教セ									
27	<b>県立学校中核教諭研修</b>			(校種) 高・特支		(研修予定人数) 70		名	
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	教育センター	10/27-10/29(3日)	県立学校の教務主任、学年主任、学部主事等の中核教諭(学校運営上、主要な職にある者)に対し、学校管理運営上の諸問題について研修を行い、教員のリーダーとして全校的視野に立った指導力の深化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本県の教育の現状と課題、教育課程の編成について、学校の管理運営、生徒理解と生徒指導、研究協議(指導、管理)、キャリア教育、学校組織マネジメントとミドルリーダーの役割、教職員のやる気を引き出すコーチング等</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり		
						2 教養等	9 生徒指導		
				3 本県課題	10 特別支援				
				4 授業構想	11 同僚性				
				5 指導方法	12 組織運営				
				6 状況把握	13 家地連携				
				7 子ども理解	14 学校安全				
教セ									

(2) 職能研修

① 職能研修 I

No.	研修名・講座名			(校種)	(研修予定人数)			
	場 所	期日 (日数)	目 的	内 容	資質・能力	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期
1	市町村立学校新任校長研修会			小・中・特支	120 名			
	教育センター	小学校 4/22-4/23 中・義務教育・特別支援学校 5/6-5/7 (2日)	新任校長に対し、学校管理運営等の諸問題に関する研修を行い、管理職としての資質の向上を図る。	●校長の役割と責務、学校評価と人事評価の活用について、学校管理・運営上の課題、教育の情報化、新任校長に期待すること等	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全		
2	県立学校新任校長研修会			高・特支	20 名			
	教育センター	5/6-5/7 (2日)	新任校長に対し、学校管理、学習指導、生徒指導等に関する諸問題についての研修を行い、教職員のリーダーとして全校的視野に立つ指導力の深化を図る。	●校長の役割と責務、学校評価と人事評価制度、校長としての取組、学校管理・運営上の諸問題、教育の情報化、人事管理・教員の資質向上等	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全		
3	市町村立学校新任副校長研修会			小・中・特支	5 名			
	教育センター	5/12 (1日)	新任副校長に対し、学校管理運営等の諸問題に関する研修を行い、管理職としての資質の向上を図る。	●副校長の役割と責務、新任副校長に期待すること、学校管理・運営上の課題等	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全		
4	県立学校新任副校長研修会			高・特支	5 名			
	教育センター	5/12 (1日)	新任副校長に対し、学校管理、学習指導、生徒指導等に関する諸問題についての研修を行い、教職員のリーダーとして全校的視野に立つ指導力の深化を図る。	●副校長に期待されていること、副校長の職務について、副校長としての取組、学校管理・運営上の諸問題等	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全		
5	市町村立学校新任教頭研修会			小・中・特支	130 名			
	教育センター	小学校 4/27-4/28 (2日) 中・義務教育・特別支援学校 5/10-5/11 (2日)	新任教頭に対し、学校管理運営等の諸問題に関する研修を行い、管理職としての資質の向上を図る。	●教頭の職務、教頭に期待すること、学校評価と人事評価の活用について、学校運営上の課題、教育の情報化、学校組織マネジメント等	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全		
6	県立学校新任教頭研修会			高・特支	20 名			
	教育センター	5/10-5/11 (2日)	新任教頭に対し、学校管理、学習指導及び生徒指導等に関する研修を行い、管理職としての資質の向上を図る。	●教頭に期待すること、教頭の職務、学校評価と人事評価制度、学校運営上の課題、教育の情報化、学校組織マネジメント等	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全		

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)				名									
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
	場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力													
7	<b>新任主幹教諭研修会</b>			(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 30 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
教セ	教育センター	5/13 (1日)	新任主幹教諭に対し、学校評価や学校組織マネジメント、校務運営上の課題等に関する研修を行い、その資質の向上を図る。	●主幹教諭の職務について、学校組織マネジメント、主幹教諭の実務と校務運営上の課題への対応、教職員の服務倫理意識の向上等		1使命感等	8集団づくり	2教養等	9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握	13家地連携	7子ども理解	14学校安全
8	<b>新任教務主任研修会</b>			(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 120 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
教セ	各地区	1日	新任教務主任に対し、教育計画や学校運営に関する研修を行い、その資質の向上及び校務運営の適正化を図る。	●学校教育の現状と課題、学校運営と教務主任の役割、学校管理上の諸問題、教育課程の編成と管理、教育課程と生徒指導、校内研修等		1使命感等	8集団づくり	2教養等	9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握	13家地連携	7子ども理解	14学校安全

## ② 職能研修Ⅱ

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)				名									
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
	場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力													
9	<b>基礎力アップ研修</b>			(校種) 小・中・特支事務職員採用5年目		(研修予定人数) 8 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
義務	ふくしま 自治研修センター	未定 (3日)	○キャリアプランを設計し、求められる役割や能力を理解する。 ○求められる能力の開発に向けて必要な知識等の習得を図る。	●キャリアデザイン ・自らに求められる役割を理解するとともに、ワークライフバランスを意識した働き方を考える。 ●プレゼンテーション能力の育成 ●政策立案の手法 ●折衝・交渉力の養成		1使命感等	8集団づくり	2教養等	9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握	13家地連携	7子ども理解	14学校安全
10	<b>応用力アップ研修</b>			(校種) 小・中・特支事務職員：採用後9年目		(研修予定人数) 3 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
義務	ふくしま 自治研修センター	未定 (3日)	○キャリアプランを点検し、求められる役割や能力を理解する。 ○求められる能力の開発に向けて必要な知識等の習得を図る。	●キャリアデザイン ・自らに求められる役割を理解するとともに、ワークライフバランスを意識した働き方を考える。 ●合意形成能力の育成 ●実効性の高い政策立案の手法 ●住民協働によるまちづくりの考察		1使命感等	8集団づくり	2教養等	9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握	13家地連携	7子ども理解	14学校安全
11	<b>実行力アップ研修</b>			(校種) 小・中・特支事務職員：採用後13年目		(研修予定人数) 3 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
義務	ふくしま 自治研修センター	未定 (3日)	○キャリアプランを点検し、求められる役割や能力を理解する。 ○求められる能力の開発に向けて必要な知識等の習得を図る。	●キャリアデザイン ・自らに求められる役割を理解するとともに、ワークライフバランスを意識した働き方を考える。 ●サポート力の養成 ●効果的な政策立案・実施の手法 ●住民協働のためのファシリテーション能力養成		1使命感等	8集団づくり	2教養等	9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握	13家地連携	7子ども理解	14学校安全
12	<b>新任係長研修</b>			(校種) 小・中・特支事務職員・新任主任主査		(研修予定人数) 3 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
義務	ふくしま 自治研修センター	未定 (3日)	○主任主査としての心構えや部下育成の基本的な考え方等、チームをまとめるための基本的なマネジメント能力の向上に向けて必要な知識等の習得を図る。	●主任主査の在り方や心構え ●マネジメント能力の向上 ・係長に求められるマネジメント能力を身につけるとともに、OJT、リスクマネジメント、メンタルヘルス、人事評価制度に関する組織的な考え方を学ぶ。		1使命感等	8集団づくり	2教養等	9生徒指導	3本県課題	10特別支援	4授業構想	11同僚性	5指導方法	12組織運営	6状況把握	13家地連携	7子ども理解	14学校安全

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)				名				
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
	場所	期日・日数	目的	内容		資質・能力								
13	<b>学校安全指導者養成研修</b>			(校種) 小・中・高・特支 県北、相双		(研修予定人数) 悉皆250 名								
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
	県北	10月中 (1日)	学校安全担当教員に対し生活安全に関する計画策定等を身に付ける研修を行い、学校における安全教育の充実を図る。	●講演、講義・演習等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援			
相双	10月中 (1日)	4 授業構想				11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全		
健康														
14	<b>健康教育推進者研修会</b>			(校種) 小・中・高・特支 県中、県南、会津・南会津		(研修予定人数) 悉皆407 名								
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
	県中	10月14日	各学校において健康教育推進の中心的役割を担う養護教諭等に研修を行い、学校における健康教育推進の中心となる教員の資質向上と健康教育の充実を図る。	●講演、講義等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援			
	県南	9月9日				4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全	
会津・南会津	10月4日													
健康														
15	<b>新規採用栄養教諭研修</b>			(校種)		(研修予定人数) 4 名								
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
健康	教育センター 協力校 所属校	未定 (4日)	新規採用の栄養教諭に対し、栄養教諭としての職務を円滑に遂行するため、基礎的・専門的知識及び実践的指導力並びに使命感を養うとともに、幅広い知見を習得させ、栄養教諭としての資質の向上を図る。	●学校における食育の推進と栄養教諭の役割 ●学校給食の栄養管理と衛生管理 ●教科等における学習指導 ●教育公務員としての服務と勤務、生徒指導等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援			
健康														
16	<b>栄養教諭食育推進研修会</b>			(校種)		(研修予定人数) 70 名								
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
健康	協力校	11月～12月中 (未定)	食育が円滑に推進するために、栄養教諭としての専門的知識・実践的指導力及び使命感を養うとともに、幅広い知見を得させ資質の向上を図る	●栄養教諭を中核とした食育の推進 ●教科等における食に関する指導等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援			
健康														
17	<b>教育支援協議会</b>			(校種) 中学校管理職・地教委		(研修予定人数) 490 名								
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
	県北	6/10(1日)	各学校における一貫した支援体制の整備と充実に向けて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒の理解や校内支援体制の整備、対象の幼児児童生徒への合理的配慮の提供、関係機関との連携等の取組や課題について理解を図り、各学校における特別支援教育の充実を図る。	●障がいのある幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた支援の在り方についての理解 ●連続性のある多様な学びの場と就学についての理解と具体的な事例の共有 ●校内支援体制の整備についての理解と共有 ●早期からの教育支援と関係機関等との連携についての理解		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援			
	県中	6/2(1日)				4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全	
	県南	6/1(1日)												
	会津	6/8(1日)												
	南会津	5/31(1日)												
相双	6/4(1日)													
いわき	5/28(1日)													
特支														
18	<b>県立特別支援学校医療的ケア実施教員研修会</b>			(校種) 特支		(研修予定人数) 40 名								
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期							
特支	特別支援 教育センター	4/2 (1日)	県立特別支援学校において教員が医療的ケアを実施するために必要な基本研修を実施し、医療的ケア実施教員の養成を行う。	●特定の者への喀痰吸引研修(社会福祉士及び介護福祉士法施行規則附則第13条における第3号研修)		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援			
特支														

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)		名	
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
場 所		期 日・日 数	目 的	内 容			資 質・能 力		
19	<b>県立特別支援学校生徒指導担当者連絡協議会</b>			(校種) 特支		(研修予定人数) 42		名	
	特別支援教育センター		5/21 11/26 (2日)	県立特別支援学校における生徒指導上の諸問題に関する専門的な研修を実施することにより、指導的な立場にある教員の指導力を向上させ、幼児児童生徒の障がいの種類や程度に応じた指導の充実・改善に資する。	●特別支援学校における生徒指導の留意事項等 ●各学校における生徒指導の取組状況と課題解決に向けての協議等			1使命感等	8集団づくり
20	<b>複式指導(国語・算数)担当教員研修会</b>			(校種) 小		(研修予定人数) 30		名	
	教育センター		5/25-5/26 (2日)	複式指導(国語・算数)担当教員に対し、複式学級における学習指導や生活指導等の研修を行い、指導力の向上を図る。	●複式指導の現状と課題、複式学級における指導上の諸問題、複式学級における指導の実際、複式学級における国語・算数の指導計画作成に関する研究協議、演習等			2教養等	9生徒指導
21	<b>免許外教科担任教員研修会</b>			(校種) 中		(研修予定人数) 120		名	
	教育センター		1班 5/12-5/14 2班 5/19-5/21 (3日)  ※保体のみ 5/12-5/13(2日) ※音楽のみ 5/19-5/21(3日)	中学校の免許外の教科を担当する教員に対し、学習指導に関する研修を行い、指導力の向上を図るとともに、教育活動の充実に資する。	●学習指導の在り方、教科の目標・内容・指導上の留意点、指導上の諸問題解決のための研究協議、演習、実習等			3本県課題	10特別支援
22	<b>校長のためのマネジメント講座</b>			(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 70		名	
	教育センター		6/7-6/8 (2日)	組織マネジメントの発想を取り入れることにより、変化に対応した新しい学校づくりの考え方と手法を身に付け、さらに危機管理に対する対応や知識を習得するとともに、管理職としての意識の向上を図る。	●学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント、学校事故防止・教職員不祥事の根絶、学校問題の未然防止・早期対応、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育、地域と共にある学校等			4授業構想	11同僚性
23	<b>教頭のためのマネジメント講座</b>			(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 80		名	
	教育センター		9/2-9/3 (2日)	組織マネジメントの発想を取り入れることにより、変化に対応した新しい学校づくりの考え方と手法を身に付け、さらに危機管理に対する対応や知識を習得するとともに、管理職としての意識の向上を図る。	●学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント、学校経営とマネジメント、学校問題の未然防止・早期対応、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育、地域と共にある学校等			5指導方法	12組織運営
24	<b>小・中学校におけるキャリア教育実践講座</b>			(校種) 小・中		(研修予定人数) 小22名・中14名		名	
	教育センター		9/6-9/7 (2日)	小・中学校の教員に対し、将来、社会人・職業人として自立できる児童生徒を育成するキャリア教育の在り方について研修を行い、各学校においてキャリア教育を推進するための指導力の向上を図る。	●キャリア教育の充実に向けて、実社会から見た学校教育への期待、キャリア発達理論とキャリアカウンセリング、基礎的・汎用的能力を育む教育課程、自校における実践的・体験的学習活動の取組、教科横断的な視点を取り入れた年間指導計画の作成等			6状況把握	13家地連携

No.	研修名・講座名			(校種)	(研修予定人数)				名	
	場 所	期日・日数	目 的	内 容	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	資質・能力	
25	養護教諭専門研修講座 ※令和3年度は実施しない			(校種)	小・中・高・特支				(研修予定人数)	— 名
	教育センター			在職期間が15年に達した養護教諭 ●健康教育の現状と課題、児童生徒の発達段階の理解と対応マネジメント、この役割、健康課題に対応するための研修を行い、資質の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全
26	学校栄養職員専門研修講座			(校種)	小・中				(研修予定人数)	5 名
	教育センター			9/15-9/17 (3日) 在職期間が15年に達した学校栄養職員に対し、より高度な専門的知識・技能等を高め、地域の食育推進のリーダー的役割を果たすために必要な資質の向上を図る。	●食育の現状と課題、食育全体計画の作成、組織を生かした食育、学校給食摂取基準の考え方と活用、学校・家庭・地域と連携した食育、課題解決に向けて等	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解
27	特別支援学級等新任担当教員研修会			(校種)	小・中				(研修予定人数)	200 名
	○共通研修 環境創造センター(コミュニティ福島)	1日 4/20(県北・県中・相双) 4/23(県南・会津・南会津・いわき)	今年度、新たに小・中学校特別支援学級担任及び通級指導教室の担当になった教員に対して、特別支援教育に関する基礎的事項について研修を行い特別支援教育に携わる教員としての資質を高める。	●特別支援教育の実際、障がいの理解、学習指導の望ましい在り方、実態に応じた学級経営、教育課程の編成等の講義 ●各自の授業実践をもとにした授業分析と、それに基づく研究協議	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全
28	特別支援学級担当教員(経験三年)研修会			(校種)	小・中				(研修予定人数)	60 名
	(地区別研修) 県北・相双 県中・県南 会津・南会津	1日 9/2 9/1 8/31	※対象:特別支援学級担当の経験が通算3年目の教員経験のある小・中学校特別支援学級担当教員に対して、特別支援教育に関する基礎的内容を踏まえた応用的事項の研修を行い特別支援教育に携わる教員としての資質を高める。	●特別支援学級の教育課程の編成や自立活動の指導、交流及び共同学習の実施計画等の立案・実施に関する講義・演習 ●各自の授業実践に基づく授業分析やそれを基にした研究協議	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全
29	小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会			(校種)	小・中				(研修予定人数)	130 名
	(地区別研修) 県北 県中 県南 会津・南会津 相双	1日 5/21 5/20 5/25 5/17 5/28	特別支援教育コーディネーターに対し、校内支援や関係機関との連携の在り方等について研修し、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図る。	●特別支援教育の最新の動向やコーディネーターの役割や活動内容の講義 ●各校で行われている実践事例に基づく講義 ●課題解決に向けたケース検討・協議	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全
30	高等学校特別支援教育コーディネーター研修会			(校種)	高				(研修予定人数)	45 名
	(地区別研修) 県北 県中・県南 会津・南会津 相双 いわき	1日 5/12 次年度の実施 5/12 5/12 次年度の実施	特別支援教育コーディネーターに対し、校内支援や関係機関との連携の在り方等について研修し、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図る。	●特別支援教育の最新の動向やコーディネーターの役割や活動内容の講義 ●個別の教育支援計画の作成や活用の実践事例に基づく協議・演習 ●課題解決に向けたケース検討・協議	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1使命感等 2教養等 3本県課題 4授業構想 5指導方法 6状況把握 7子ども理解	8集団づくり 9生徒指導 10特別支援 11同僚性 12組織運営 13家地連携 14学校安全

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名											
	場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力													
31	特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会			(校種) 特		(研修予定人数) 25 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	特別支援教育センター	5/18 (1日)	特別支援学校のセンター的機能の在り方、国や県の教育施策、コンサルテーションの進め方等について研修し、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図る。	●特別支援教育の動向や特別支援学校のセンター的機能の意義、役割、地域支援の取組の現状や課題等の講義 ●小、中学校の学校支援、地域のニーズに応じた相談等の実践事例に基づくケース検討		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
32	特別支援学校養護教諭研修会 ※令和3年度は実施しない			(校種) 特支		(研修予定人数) 一 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	特別支援教育センター		障がいのある児童生徒の理解と対応、県の特別支援教育の現状や施策等を研修し、資質の向上を図る。	●国や本県の特別支援教育の動向や課題等の講義 ●障がいの特性理解の演習や生徒の理解とかかわりの視点についての協議		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
33	特別支援学校訪問教育・医療的ケア担当教員研修会 ※令和3年度は実施しない			(校種) 特支		(研修予定人数) 一 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	特別支援教育センター		障がいのある児童生徒の理解と対応、県の特別支援教育の現状や施策等を研修し、資質の向上を図る。	●国や本県の特別支援教育の動向や課題等の講義 ●障がいの特性理解の演習や生徒の理解とかかわりの視点についての協議		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
34	特別支援学校実習助手等研修会			(校種) 特支		(研修予定人数) 15 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	特別支援教育センター	8/3 (1日)	障がいのある児童生徒の理解と対応、県の特別支援教育の現状や施策等を研修し、資質の向上を図る。	●国や本県の特別支援教育の動向や課題等の講義 ●障がいの特性理解の演習や生徒の理解とかかわりの視点についての協議		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
35	通級指導教室担当教員研修会			(校種) 小・中		(研修予定人数) 70 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	環境創造センター (コミュタンふくしま)	7/13 (1日)	通級指導教室担当の教員に対し、学級経営や指導計画作成、通常の学級担任との連携、個別の指導計画に基づいた指導等について研修し、通級指導教室担当としての実践力の向上を図る。	●国や本県の特別支援教育の在り方、通級指導教室の役割、計画と運営、指導実践等に関する講義 ●先進校の実践例、指導計画と指導内容に基づくケース検討等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
36	特別支援学校教務主任・学部主事研修会			(校種) 特支		(研修予定人数) 25 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	特別支援教育センター	6/29 (1日)	教務主任及び学部主事の役割や教育課程編成に関する諸問題、学校運営等について研修を深め、教務主任及び学部主事としての資質・能力と指導力の向上を図る。	●教務主任及び学部主事の職務と役割、期待すること、学習指導と生徒指導に関すること等 ●校務運営上の諸問題についての協議等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全

### ③ 職能研修Ⅲ

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名											
	場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力													
37	福島県公立学校長研修会(地区別研修会)			(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 名													
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
義高	県北 県中 県南 会津 南会津 相双 いわき	未定(半日) 未定(半日) 未定(半日) 未定(半日) 未定(半日) 未定(半日) 未定(半日)	各学校が、特色ある教育を実現していくために、本県教育を小・中・高という幅広い視野から展望し、本県教育施策の十分な理解とともに、それらに対応した具体的な実践課題を明確にする。	●学校経営上の諸問題、教育課程編成・実施・管理、服務倫理等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全

(3) 専門研修

① 専門研修 I

No.	研修名・講座名			(校種)	(研修予定人数)			
	場 所	期日 (日数)	目 的	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名
1	幼稚園教育課程研究協議会			(校種) 幼	(研修予定人数) 280 名			
	各地区 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき	未定 (半日)	幼稚園における教育課程実施上の諸問題に関する専門的研修を実施することにより、教員の指導力の向上と幼稚園教育要領の趣旨の徹底を図り、本県幼稚園教育の充実・改善に資する。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 授業構想 5 指導方法 6 状況把握 7 子ども理解
義務								
2	小学校教育課程研究協議会			(校種) 小	(研修予定人数) 470 名			
	各教育事務所 県北 県中 県南 会津 南会津 相双 いわき	未定 (半日)	小学校における教育課程実施上の諸問題に関する専門的研修を実施することにより、教員の指導力の向上と学習指導要領の趣旨の徹底を図り、本県小学校教育の充実・改善に資する。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 授業構想 5 指導方法 6 状況把握 7 子ども理解
義務								
3	中学校教育課程研究協議会			(校種) 中	(研修予定人数) 260 名			
	各教育事務所 県北 県中 県南 会津 南会津 相双 いわき	未定 (半日)	中学校における教育課程実施上の諸問題に関する専門的研修を実施することにより、教員の指導力の向上と学習指導要領の趣旨の徹底を図り、本県中学校教育の充実・改善に資する。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 授業構想 5 指導方法 6 状況把握 7 子ども理解
義務								
4	高等学校教育課程講習会			(校種) 高・特支	(研修予定人数) 400 名			
	県内5地区  県北 県中・県南 会津 いわき 相双	未定	高等学校学習指導要領について、その趣旨の徹底を図り、本県高等学校教育の充実・改善に資する。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 授業構想 5 指導方法 6 状況把握 7 子ども理解
高校								
5	特別支援学校教育課程運営改善講座			(校種) 特支	(研修予定人数) 40 名			
	特別支援教育センター	8/19 (1日)	特別支援学校における教育課程実施上の諸問題に関する専門的研修を実施することにより、指導的立場のある教員の指導力の向上を図るとともに、学校の実態や児童生徒の障がいの種類と程度に応じた教育課程の編成と適切な実施及び管理に努め、特別支援教育の改善充実に資する。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 授業構想 5 指導方法 6 状況把握 7 子ども理解
特支								
6	特別支援学級教育課程研修会			(校種) 小・中	(研修予定人数) 390 名			
	知的障がい 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき	11/11(1日) 11/19(1日) 10/26(1日) 11/24(1日) 11/9(1日) 10/27(1日)	小学校及び中学校の特別支援学級における教育課程の編成及び実施上の諸問題について研修することにより、特別支援学級担当教員の資質の向上と特別支援学級における教育の改善・充実に資する。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 授業構想 5 指導方法 6 状況把握 7 子ども理解
特支	弱視・難聴・肢体不自由、病弱・身体虚弱、自閉症・情緒は、令和3年度は実施しない。							

② 専門研修Ⅱ

No.	研修名・講座名		(校種)		(研修予定人数)													
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名											
	場 所	期日(日数)	目 的	内 容		資質・能力												
7	<b>幼児教育実技研修会</b> 地区別研修 県北・県中・県南・会津 南会津・相双・いわき		(校種) 幼		(研修予定人数) 延べ360 名													
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
義務	1日(未定)	幼稚園教育要領に示されるねらいが達成できるよう実技研修を行い、指導力の向上を図る。	●幼児教育の指導内容についての講義、実技等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
8	<b>地域支援センター特別支援教育研修会</b> 特別支援学校地域支援センターの計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき		(校種) 小・中・高		(研修予定人数) 300 名													
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特支	1日(未定)	小学校・中学校及び高等学校等における特別な支援を必要とする児童生徒への指導支援の在り方や進め方、学級経営等について研修することにより、教員の資質向上と授業の改善・充実に資する。	●特別な支援を必要とする児童生徒への指導支援の在り方や進め方について ●学習指導の改善等についての研究協議等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
9	<b>体育・保健体育指導力向上研修県中央研修</b> 県営あづま総合運動公園体育館		(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 40 名													
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
健康	6月30日(水)	県内の小学校・中学校及び高等学校・特別支援学校における体育指導者の資質の向上を図るとともに、各教育事務所管内で開催する体育・保健体育指導力向上研修県地区別研修の指導者を養成する。	●幼児の運動遊びコース ●体づくり運動コース ●陸上運動系コース ●球技(ネット型)コース ●武道(柔道)コース ●保健コース		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
10	<b>体育・保健体育指導力向上研修県地区別研修</b> 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき		(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 720 名													
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
健康	1日	体育担当教員に対し、実技指導力を高める研修を行い、体育指導の充実に資する。	●幼児の運動遊びコース ●体づくり運動コース ●陸上運動系コース ●球技(ネット型)コース ●武道(柔道)コース ●保健コース		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
11	<b>小・中・高等学校体育担当者連絡協議会</b> 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき		(校種) 小・中・高		事務職員	(研修予定人数) 750 名												
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
健康	1日	小・中・高の学校体育担当者の共通理解を図り、一貫した指導体制を構築する。	●体力向上講義、研究協議		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
12	<b>「言葉による見方・考え方」を働かせる                      小学校国語科指導力向上講座</b> 教育センター		(校種) 小・特支		(研修予定人数) 24 名													
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
教セ	10/4-10/5(2日)	「言葉による見方・考え方」を働かせることと、付けたい力を付けるための授業の在り方について研修を行い、その指導力を高める。	●「言葉による見方・考え方」について ●「深い学び」につなげる授業の在り方について ●付けたい力を明確にした単元構想、授業構想等の在り方について等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)		名	
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
場 所	期日 (日数)	目 的	内 容			資質・能力			
13	「言葉による見方・考え方」を働かせる 中学校国語科指導力向上講座			(校種) 中・特支		(研修予定人数) 20		名	
	教育センター	8/26-8/27 (2日)	「言葉による見方・考え方」を働かせること、付けたい力を付けるための授業の在り方について研修を行い、その指導力を高める。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
14	授業改善に結び付く 国語科の評価問題作成・研究講座			(校種) 中・高・特支		(研修予定人数) 12		名	
	教育センター	8/5-8/6 (2日)	評価問題の作成を通して作問力の向上を図るとともに、中高の交流を深めながら検討を重ねることにより、今、求められる評価と評価問題の在り方について考察を深め、授業の改善を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
15	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 国語科の授業づくり講座			(校種) 中・高・特支		(研修予定人数) 12		名	
	教育センター	10/21-10/22 (2日)	ワークショップを通して、「主体的・対話的で深い学び」の実感的な理解を深めるとともに、PISA型読解力の視点による「発問の精選」や「言語活動の充実」を軸とした授業づくりの研修を行い、実践的な指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
16	社会的な見方・考え方を働かせた 社会科の授業づくり講座			(校種) 小・中・特支		(研修予定人数) 16		名	
	教育センター	7/20-7/21 (2日)	社会の変化に主体的に対応していく力を育むため、社会的な見方や考え方を働かせる授業づくりについて研修を行い、指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
17	地理歴史科における地理総合・歴史総合の 授業づくり講座			(校種) 高・特支		(研修予定人数) 12		名	
	教育センター	8/17-8/18 (2日)	新学習指導要領に対応した、新科目における「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業づくりについての研修を行い、授業力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
18	社会科・地理歴史科・公民科における 主権者教育の授業づくり講座			(校種) 中・高・特支		(研修予定人数) 12		名	
	教育センター	9/6 (1日)	主権者としての意識を生徒に育ませることの意義と指導法について、授業づくりなどを通じた研修を行い、授業力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
19	算数科「数学的活動の充実を図る授業づくり」講座			(校種) 小・特支		(研修予定人数) 12		名	
	教育センター	8/5-8/6 (2日)	教材の本質をとらえるとともに、数学的活動を充実させ、児童の数学的に考える資質・能力を育む授業づくりの研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)		名	
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
場 所	期 日・日数	目 的	内 容			資 質・能 力			
20	教える授業から子どもが学ぶ授業に変わる 数学科授業改善講座			(校種) 中・特支		(研修予定人数) 12		名	
	教育センター	6/18 (1日)	子どもが数学的活動に主体的に取り組むための授業の在り方についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
21	新学習指導要領に対応する単元・授業づくりに生かす 数学科評価問題講座			(校種) 高・特支		(研修予定人数) 12		名	
	教育センター	7/21 (1日)	新学習指導要領に対応するため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり・評価問題の作成とともに、評価問題に対応する単元づくりの研修を行い、数学科授業のマネジメント力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
22	生徒の問題解決や意思決定につながる 中学校・高等学校統計授業づくり講座			(校種) 中・高・特支		(研修予定人数) 12		名	
	教育センター	10/1 (1日)	中学校・高等学校の系統性を重視し、統計的探究プロセスを活用した生徒の問題解決や意思決定につながる授業づくりと、ICTを活用した指導法の研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
23	理科の見方・考え方やプログラミングを生かした 小学校理科講座			(校種) 小・特支		(研修予定人数) 18		名	
	教育センター	10/22 (1日)	今日的課題を踏まえ、児童が理科の見方・考え方を働かせる授業の在り方と、プログラミング教育についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
24	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 中学校理科講座			(校種) 中・特支		(研修予定人数) 15		名	
	教育センター	7/20-7/21 (2日)	今日的課題を踏まえ、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりと、それに伴う観察、実験についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
25	高等学校理科観察・実験・授業づくり講座			(校種) 高・特支		(研修予定人数) 15		名	
	教育センター	10/4-10/5 (2日)	「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた物理、化学、生物、地学に関する観察・実験の指導法や授業づくりの研修を行い、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する指導力を高める。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり
26	実習助手のための理科観察・実験講座			(校種) 高・特支 ※理科実習助手対象		(研修予定人数) 10		名	
	教育センター	7/14-7/15 (2日)	理科に関する観察・実験などの研修を行い、観察・実験の技能を向上させるとともに自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する指導法を習得する。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)		名											
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
場 所	期 日・日数	目 的	内 容			資 質・能 力													
27	<b>発問で授業を活性化させる英語指導講座</b>			(校種) 中・高・特支		(研修予定人数) 16		名											
	教育センター	10/4-10/5 (2日)	教科書本文の指導における深い学びを促す手だての在り方について理解を深め、授業の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書本文の指導上の成果と課題</li> <li>●深い学びを促す教科書本文の指導の在り方</li> <li>●深い学びを促すための授業構想</li> </ul>			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解
28	<b>統合的な言語活動で伸ばすスピーキング・ライティング指導講座</b>			(校種) 高・特支		(研修予定人数) 12		名											
	教育センター	8/19-8/20 (2日)	複数の技能を統合した言語活動を通して、スピーキング力とライティング力を伸ばす指導と、それらの評価の在り方について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●統合的な言語活動を用いて話す力・書く力を伸ばす授業</li> <li>●話す力・書く力を伸ばす授業構想</li> <li>●高等学校英語科におけるパフォーマンス評価</li> </ul>			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解
29	<b>教科書を活用して表現力を高める英語指導講座</b>			(校種) 中・特支		(研修予定人数) 15		名											
	教育センター	7/20-7/21 (2日)	教科書を活用した言語活動の在り方について理解を深め、表現力を高めるための授業改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表現力を高める言語活動の在り方</li> <li>●教科書を活用した表現力の指導法</li> <li>●表現力を高めるための授業構想</li> </ul>			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解
30	<b>ICTで変わる音楽の授業づくり講座</b>			(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 20		名											
	教育センター	10/14-10/15 (2日)	音楽の授業におけるICTの効果的な活用法について、タブレットPC等の演習や講義・協議を通して学び、授業力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽科におけるICT活用の視点</li> <li>●音楽科における効果的なICTの活用</li> <li>●ICTを活用した音楽の授業デザイン</li> </ul>			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解
31	<b>日本伝統音楽のよさを味わう授業づくり講座</b>			(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 12		名											
	教育センター	10/26 (1日)	我が国や郷土の伝統音楽の「よさ」を味わうことができる授業づくりに向けて、講義・実技演習等を行い、その識見と実践的な指導力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本伝統音楽の指導</li> <li>●日本伝統音楽の授業づくり 等</li> </ul>			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解
32	<b>思考力・判断力・表現力を育む器楽指導法講座(ギター編)</b>			(校種) 中・高・特支		(研修予定人数) 16		名											
	教育センター	6/18 (1日)	器楽における技能が、生徒にとって表現意図を表すために必要なものとなるよう、思考力・判断力・表現力を育む指導法について理解を深め、指導力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●思考力・判断力・表現力を育む器楽指導</li> <li>●ギターの魅力</li> <li>●ギターの指導法について 等</li> </ul>			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解
33	<b>楽しみながら力を伸ばす図画工作科指導法講座</b>			(校種) 小・特支		(研修予定人数) 10		名											
	教育センター	6/18 (1日)	創造することの楽しさを感じさせ、思考・判断し、表現するなどの造形的な創造活動の基礎的な能力を育てる図画工作の指導の在り方について、授業実践事例の演習を通して学び、その識見と指導力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図画工作科の授業づくり 等</li> </ul>			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解

No.	研修名・講座名		(校種)	(研修予定人数)			
	場 所	期日・日数	目 的	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
34	創造性を育む図画工作・美術の鑑賞指導法講座 (前期・後期)		(校種) 小・中・高・特支	(研修予定人数) 12 名			
	前期: 教育センター	前期: 8/6	小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞の指導について、講義、演習を通して美術教育における鑑賞の意義等を理解しながら、鑑賞の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
教セ	後期: 福島県立美術館	後期: 11/2	●感性を働かせるプログラム ●学校と美術館の連携活動について ●鑑賞教育のこれから ●観賞用教材を活用した鑑賞活動 等				
35	創造性を育む美術の表現指導法講座		(校種) 中・高・特支	(研修予定人数) 12 名			
	教育センター	10/14-10/15 (2日)	中学校・高等学校美術の表現の指導について、制作演習や講義、鑑賞演習を通して、美術教育における表現の意義等を理解しながら、表現の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
教セ			●表現の発想と技法 等				
36	発想と技法を学ぶ書道実技講座		(校種) 高・特支	(研修予定人数) 12 名			
	教育センター	10/29 (1日)	高等学校書道の目標に示された「書の伝統と文化についての理解を深める」指導のため、書に関わる講義・演習を通してその諸技法、構想、鑑賞の仕方を学び、その識見と指導力を高める。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
教セ			●書道の表現と鑑賞 等				
37	運動が苦手な児童生徒のための体育指導講座		(校種) 小・中・高・特支	(研修予定人数) 20 名			
	教育センター	8/17-8/18 (2日)	運動が苦手な児童生徒の理解と、指導に必要な基礎的・基本的な知識と技能を習得し、実践的な指導力を高める。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
教セ			●指導上の課題と改善に向けて ●運動が苦手な児童生徒に対する指導の在り方 ●運動が苦手な児童生徒に対する授業づくり				
38	ICTを活用した保健体育の授業づくり講座		(校種) 小・中・高・特支	(研修予定人数) 20 名			
	教育センター	11/8-11/9 (2日)	保健体育の授業におけるICTの効果的な活用法やタブレットPC等の活用の仕方を学び、授業力向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
教セ			●効果的なICT活用事例と活用のポイント ●保健の授業におけるICTの活用法 ●体育実技におけるタブレットPC等の活用法				
39	実践力を高める技術科講座 (情報・エネルギー変換編)		(校種) 中・特支 ※中学校免許外教科担任受講可	(研修予定人数) 10 名			
	教育センター	7/29-7/30 (2日)	中学校技術科の教科指導に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得し、実践的な指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
教セ			●エネルギー変換の技術・情報の技術に関する指導上の課題 ●技術分野におけるプログラミングに関する指導の在り方 ●エネルギー変換の技術・情報の技術における授業例 等				
40	家庭科の指導力向上をめざす 基礎・基本講座(被服編)		(校種) 小・中・特支 ※中学校免許外教科担任受講可	(研修予定人数) 10 名			
	教育センター	8/6 (1日)	小・中学校家庭科の実技指導に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得し、実践的な指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
教セ			●衣生活の学習に関する指導上の課題 ●持続可能な社会を目指すための衣生活の学習 ●不用な布製品を用いた物の製作 等				

No.	研修名・講座名		(校種)	(研修予定人数)				名
	場 所	期 日・日 数	目 的	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	
41	消費生活・環境に関する指導の充実をめざす 家庭講座(食物編)		(校種)	中・高・特支		(研修予定人数)		10 名
	教育センター	11/11-11/12 (2日)	中学校・高等学校家庭科における専門的な知識や技術、指導法について研修を行い、実践的な指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 8 集団づくり 2 教養等 9 生徒指導 3 本県課題 10 特別支援 4 授業構想 11 同僚性 5 指導方法 12 組織運営 6 状況把握 13 家地連携 7 子ども理解 14 学校安全
42	「考え、議論する」小学校道徳科授業づくり講座		(校種)	小・特支		(研修予定人数)		20 名
	教育センター	6/24-6/25 (2日)	道徳科の授業の充実を図るための実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 8 集団づくり 2 教養等 9 生徒指導 3 本県課題 10 特別支援 4 授業構想 11 同僚性 5 指導方法 12 組織運営 6 状況把握 13 家地連携 7 子ども理解 14 学校安全
43	「考え、議論する」中学校道徳科授業づくり講座		(校種)	中・特支		(研修予定人数)		20 名
	教育センター	7/6-7/7 (2日)	道徳科の授業の充実を図るための実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 8 集団づくり 2 教養等 9 生徒指導 3 本県課題 10 特別支援 4 授業構想 11 同僚性 5 指導方法 12 組織運営 6 状況把握 13 家地連携 7 子ども理解 14 学校安全
44	学校教育相談基本講座		(校種)	小・中・高・特支 ※実習助手受講可		(研修予定人数)		40 名
	教育センター	6/28 (1日)	学校における生徒指導・教育相談の基礎となる理論と技能について実践的な研修を行い、その指導力を高める。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 8 集団づくり 2 教養等 9 生徒指導 3 本県課題 10 特別支援 4 授業構想 11 同僚性 5 指導方法 12 組織運営 6 状況把握 13 家地連携 7 子ども理解 14 学校安全
45	学校教育相談実践講座(前期)(中期)(後期)		(校種)	小・中・高・特支 ※実習助手受講可		(研修予定人数)		24 名
	教育センター	前期:7/6 (1日) 中期:10/12 (1日) 後期:2/8 (1日)	生徒指導・教育相談を実施運営する上で必要な理論と技能について実践的な研修を行い、その指導力を高める。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 8 集団づくり 2 教養等 9 生徒指導 3 本県課題 10 特別支援 4 授業構想 11 同僚性 5 指導方法 12 組織運営 6 状況把握 13 家地連携 7 子ども理解 14 学校安全
46	人間関係づくりに生かす予防・開発的教育相談講座		(校種)	小・中・高・特支 ※実習助手受講可		(研修予定人数)		40 名
	教育センター	9/27 (1日)	教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の好ましい人間関係づくりに役立つ予防・開発的教育相談活動について、演習を中心とした実践的な研修を行い、その指導力を高める。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等 8 集団づくり 2 教養等 9 生徒指導 3 本県課題 10 特別支援 4 授業構想 11 同僚性 5 指導方法 12 組織運営 6 状況把握 13 家地連携 7 子ども理解 14 学校安全

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)											
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名									
場 所	期 日・日数	目 的	内 容			資 質・能 力											
47	いじめの理解と対応講座			(校種) 小・中・高・特支 ※実習助手受講可		(研修予定人数) 40 名											
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営
教セ	教育センター	10/1 (1日)	いじめ防止対策推進法及びいじめ防止基本方針に基づいた組織的な対応の在り方について理解するとともに、未然防止、早期対応等に関わる指導力を高める。	●いじめ防止対策推進法の理解 ●いじめ対応と脱いじめ													
48	校務処理に生かす表計算活用講座			(校種) 小・中・高・特支 ※実習助手受講可		(研修予定人数) 30 名											
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営
教セ	教育センター	10/13 (1日)	校務処理における表計算の様々な機能についての実践的な研修を行い、その技術と指導力を高める。	●校務処理に生かせる関数とグラフ作成 ●マルチシート・グループ集計 ●ピボットテーブル ●課題演習													
49	授業力向上のためのICT活用基礎講座(義務系)			(校種) 小・中		(研修予定人数) 24 名											
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営
教セ	教育センター	11/11 (1日)	タブレットPC等の取扱いや授業における効果的な活用法を学び、授業力向上を図るとともに、校内でICTの活用を推進できる技術と指導力を高める。	●教育の情報化の概要 ●ICT機器の操作法 ●効果的なICT活用事例と活用のポイント ●授業設計ワークショップ													
50	授業力向上のためのICT活用基礎講座(県立系)			(校種) 高		(研修予定人数) 30 名											
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営
教セ	教育センター	11/2 (1日)	タブレットPC等の取扱いや授業における効果的な活用法を学び、授業力向上を図るとともに、校内でICTの活用を推進できる技術と指導力を高める。	●教育の情報化の概要 ●ICT機器の操作法 ●効果的なICT活用事例と活用のポイント ●授業設計ワークショップ													
51	グループウェアで活用するG Suite実践講座			(校種) 小・中・高・特支 ※実習助手受講可		(研修予定人数) 30 名											
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営
教セ	教育センター	7/21 (1日)	校内グループウェアとしてのG Suite for Educationの活用法を学び、校務の情報化を推進するための知識と技術を高める。	●グループウェアの概要 ●校内グループウェアとしてのG suite 活用 ●各学校の校内共有サイトの構築													
52	ワークショップで学ぶ情報モラル教育講座			(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 20 名											
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営
教セ	教育センター	8/17 (1日)	情報化社会が進展する中で、インターネットの現状を理解し、子どもたちに情報モラルや情報リテラシーを身に付けさせるための、新たな情報モラル教育の指導力向上を図る。	●インターネット社会の現状 ●ワークショップ「楽しいコミュニケーションを考える」 ●ワークショップ「スマホ利用のルール作り」													
53	子どもたちが支え合い、高め合う学級をつくる学級活動講座			(校種) 小・中・特支		(研修予定人数) 40 名											
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営
教セ	教育センター	8/5 (1日)	自主的・実践的な学級活動の時間の充実を図るための指導の在り方についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	●学級活動における指導のポイント ●子どもたちが支え合い、高め合う特別活動 ●子どもたちが支え合い、高め合う授業構想													

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名												
場 所	期 日・日 数	目 的	内 容			資 質・能 力														
54	放射線・防災教育指導力向上講座			(校種) 小・中・特支		(研修予定人数) 16 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期													
教セ	教育センター	8/5 (1日)	放射線・防災教育の充実に向けた指導のポイントを学び、授業、学校行事等における指導内容を構想する研修を通して、その識見と指導力の向上を図る。	●放射線・防災教育の充実に向けた指導のポイント ●指導内容の構想			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
55	養護教諭のための指導力向上講座(救急処置編)			(校種) 小・中・高・特支 ※養護教諭対象		(研修予定人数) 50 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期													
教セ	教育センター	8/6 (1日)	児童生徒の生命に関わる救急処置・危機管理を中心に、実践的な研修を通して、複雑多様化する児童生徒の健康課題解決に向けた専門性と実践力の向上を図る。	●最新の救命救急に関する知識理解 ●学校における救命救急処置の実際とその対応 ●自校の健康課題解決に向けた協議 等			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
56	養護教諭のための指導力向上講座(保健教育編)			(校種) 小・中・高・特支 ※養護教諭対象		(研修予定人数) 20 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期													
教セ	教育センター	11/12 (1日)	主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れたTTによる授業や個別の保健指導に関する実践的な研修を通して、複雑多様化する児童生徒の健康課題解決に向けた専門性と実践力の向上を図る。	●主体的・対話的で深い学びの実現を目指した保健教育の在り方 ●保健教育に関する授業の改善に向けた協議 ●効果的な個別の保健指導の進め方 等			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
57	発達障がいのある幼児児童生徒の基礎的な理解と対応			(校種) 幼保こ・小・中・高		(研修予定人数) 30 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期													
特セ	特別支援教育センター	7/1 (1日)	通常の学級等における発達障がいのある幼児児童生徒の特性に応じた支援の在り方、個別の教育支援計画の活用や関係機関との連携の在り方について研修を行い資質の向上を図る。	●発達障がいのある幼児児童生徒の特性に配慮した支援、授業づくり等の講義 ●疑似体験を通じた発達障がいの理解 ●個別の教育支援計画の活用とグループワークによる支援策づくり等			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
58	発達障がいのある児童生徒のライフステージに応じた支援を考える			(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 30 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期													
特セ	特別支援教育センター	10/13 (1日)	通常の学級における発達障がいのある児童生徒の特性に配慮し、一人一人のライフステージに応じた支援に関する講義 ●児童生徒理解と個別の教育支援計画を活用したケース検討、演習等	●発達障がいのある児童生徒の特性に配慮し、ライフステージに応じた支援に関する講義 ●児童生徒理解と個別の教育支援計画を活用したケース検討、演習等			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
59	特別支援教育の充実Ⅰ 障がいのある子どもを支える保護者や関係機関との連携			(校種) 幼保こ・小・中・高・特支		(研修予定人数) 30 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期													
特セ	特別支援教育センター	9/29 (1日)	支援が必要な幼児児童生徒の保護者や関係機関に対して、教育相談の観点からより良い支援の在り方について理解を深め、資質の向上を図る。	●幼児児童生徒や保護者が抱えている困難とその背景を知り、保護者や関係機関との連携を図り、個別の教育支援計画に生かすための講義や演習等			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
60	特別支援教育の充実Ⅱ 通常の学級に在籍する多様な児童生徒が共に学ぶための指導の充実～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりと合理的配慮～			(校種) 小・中・高		(研修予定人数) 30 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期													
特セ	特別支援教育センター	9/22 (1日)	通常の学級における多様な学びに応じた指導や支援について研修を行い、指導力の向上を図る。	●これからの多様な学びについて理解を深め、インクルーシブ教育システムの推進についての講義や児童生徒の理解と支援等の演習等			1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全

No.	研修名・講座名			(校種)	(研修予定人数)												
	場 所	期 日・日 数	目 的	内 容	資 質・能 力	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期								
61	特別支援教育の充実Ⅲ 多様な学びを支えるアセスメント			(校種) 小・中・高・特支	(研修予定人数) 30 名												
	特別支援教育センター	9/14 (1日)	アセスメントを生かした児童生徒の指導・支援について研修を行い、指導力の向上を図る。	●児童生徒の多様な学びを踏まえ、障がい特性を探るためのアセスメント活用や分析を踏まえたケース検討等	1 使命感等	2 教養等	3 本県課題	4 授業構想	5 指導方法	6 状況把握	7 子ども理解	8 集団づくり	9 生徒指導	10 特別支援	11 同僚性	12 組織運営	13 家地連携
62	特別支援教育の充実Ⅳ 生徒の進路実現と生涯にわたる支援の充実 ～生涯にわたる支援のために～			(校種) 中・高・特支	(研修予定人数) 30 名												
	特別支援教育センター	8/24 (1日)	障がいのある生徒の進路実現のための指導・支援について研修を行い、指導力の向上を図る。	●将来の進路実現に向けた指導や授業づくりに関する講義 ●生徒の教育的ニーズに応じた進路指導や進路選択に関する協議	1 使命感等	2 教養等	3 本県課題	4 授業構想	5 指導方法	6 状況把握	7 子ども理解	8 集団づくり	9 生徒指導	10 特別支援	11 同僚性	12 組織運営	13 家地連携
63	特別支援教育の充実Ⅴ チーム力向上のための知識・理論-チームづくりのヒント OJL-			(校種) 幼保こ・小・中・高・特支	(研修予定人数) 30 名												
	特別支援教育センター	10/7 (1日)	組織的、協働的に取り組む専門的な力についてOJLの知識・理論を学び、校内の様々なチーム力を向上させるための技術の向上を図る。	●チーム力向上のための知識・理論を学ぶためのOJLの講義・演習 ●自分が抱えているチームについて、どのようにアプローチするかを考える演習等	1 使命感等	2 教養等	3 本県課題	4 授業構想	5 指導方法	6 状況把握	7 子ども理解	8 集団づくり	9 生徒指導	10 特別支援	11 同僚性	12 組織運営	13 家地連携
64	特別支援教育実践力アップⅠ 自立活動の指導の充実 ～学習指導要領を踏まえて～			(校種) 小・中・高・特支	(研修予定人数) 30 名												
	特別支援教育センター	7/15 (1日)	障がいのある児童生徒の「自立活動の指導」について、基本的な内容を学び、演習・協議を通じた研修を行い、実践力の向上を図る。	●自立活動についての基本的な内容に関する講義 ●解説自立活動編の流れ図を活用した演習(児童生徒理解、指導内容の精選、授業計画作成・実践・評価等)	1 使命感等	2 教養等	3 本県課題	4 授業構想	5 指導方法	6 状況把握	7 子ども理解	8 集団づくり	9 生徒指導	10 特別支援	11 同僚性	12 組織運営	13 家地連携
65	特別支援教育実践力アップⅡ 知的障がい教育における各教科の指導の充実 ～学習指導要領を踏まえて(国語編)～			(校種) 小・中・特支	(研修予定人数) 30 名												
	特別支援教育センター	8/27 (1日)	知的障がいのある児童生徒の授業における各教科の指導について、新学習指導要領を根拠とした演習・協議を通じた研修を行い、実践力の向上を図る。	●知的障がい教育の各教科の指導等の講義 ●新学習指導要領に基づいた授業づくりの演習(指導内容の精選、各教科の指導計画の作成、実践・評価等)	1 使命感等	2 教養等	3 本県課題	4 授業構想	5 指導方法	6 状況把握	7 子ども理解	8 集団づくり	9 生徒指導	10 特別支援	11 同僚性	12 組織運営	13 家地連携
66	特別支援教育実践力アップⅢ 特別支援学校における重度・重複障がいのある 児童生徒の理解と授業づくり			(校種) 特支	(研修予定人数) 30 名												
	特別支援教育センター	7/8 (1日)	特別支援学校における重度・重複障がいのある児童生徒の授業づくりについて演習、協議を通じた研修を行い、実践力の向上を図る。	●自立活動についての基本的な内容と授業づくりに関する講義 ●授業づくりの協議(児童生徒理解、指導内容の精選、授業計画作成・実践・評価)	1 使命感等	2 教養等	3 本県課題	4 授業構想	5 指導方法	6 状況把握	7 子ども理解	8 集団づくり	9 生徒指導	10 特別支援	11 同僚性	12 組織運営	13 家地連携
67	特別支援教育実践力アップⅣ 特別支援学校における授業力向上 ～学習指導要領を踏まえた指導と評価～			(校種) 特支	(研修予定人数) 30 名												
	特別支援教育センター	9/10 (1日)	新学習指導要領を踏まえた特別支援学校における授業の評価を授業づくりを生かすための講義や演習を通じた研修を行い、実践力の向上を図る。	●指導と評価の一体化を図る授業づくりの工夫に関する実践事例に基づく講義・演習	1 使命感等	2 教養等	3 本県課題	4 授業構想	5 指導方法	6 状況把握	7 子ども理解	8 集団づくり	9 生徒指導	10 特別支援	11 同僚性	12 組織運営	13 家地連携

No.	研修名・講座名			(校種)	(研修予定人数)														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名											
場 所	期日・日数	目 的	内 容		資質・能力														
68	特別支援教育実践力アップV 〔実技研修〕チーム力向上のためのメンタルヘルス			(校種) 幼保こ・小・中・高・特支	(研修予定人数) 30 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	特別支援教育センター	10/5 (1日)	校内の多様な課題に対応できる教員のチーム力向上のためのメンタルヘルスについて、実技を中心とした研修により、実践力の向上を図る。	●教員のチーム力向上のためのメンタルヘルスの考え方に関する講義や実技研修等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
69	特別支援教育実践力アップVI 特別支援教育に活かすICT			(校種) 小・中・高・特支	(研修予定人数) 30 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	特別支援教育センター	9/16 (1日)	合理的配慮に基づく支援の在り方についての講義やICT機器やデジタル教材の活用に関する講義を通じた研修を行い、実践力の向上を図る。	●合理的配慮に基づくICT機器やデジタル教材を活用した支援の在り方に関する講義 ●教材・支援機器の活用に関する演習等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
70	特別支援教育実践力アップVII 連続性のある多様な学びの場のための小・中学校、高等学校、特別支援学校の連携 ～切れ目のない支援のための学校間の引継ぎ～			(校種) 小・中・高・特支	(研修予定人数) 30 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	特別支援教育センター	7/27 (1日)	継続した支援のための引き継ぎを中心とした校種を超えた連携の在り方について具体的事例や協議を通じた研修を行い、コーディネート力の向上を図る。	●インクルーシブ教育システムの推進のための校種を超えた連携の在り方に関する実践発表や講義 ●校種を超えた連携の在り方についての協議等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
71	特別支援教育実践力アップVIII 特別支援学級の学級経営 ～教育課程と自立活動の授業づくり～			(校種) 小・中	(研修予定人数) 30 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	特別支援教育センター	8/6 (1日)	特別支援学級の教育課程や授業づくりなどの学級経営を取り巻く基礎的な事項について、講義や協議を通じた研修を行い、実践力の向上を図る。	●特別支援学級の授業づくりについての講義、演習 ●学級経営について、各事例について課題解決のためのグループ協議		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
72	幼児期から児童期への支援を継続する幼小連携 ～子どもの発達を支える～			(校種) 幼保こ・小・特支	(研修予定人数) 30 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
特セ	特別支援教育センター	8/17 (1日)	幼児の基本的な発達と障がいの理解を基に、幼児、児童個々の支援の在り方、幼小連携に関する研修を行い、資質向上を図る。	●子どもの学びと発達についての基本的な理解と、発達につまずきのある幼児の障がいの理解の講義 ●地域における支援の実践についての実践発表等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全

### ③ 専門研修Ⅲ

No.	研修名・講座名			(校種)	(研修予定人数)														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	名											
場 所	期日(日数)	目 的	内 容		資質・能力														
73	指導担当者研究協議会			(校種) 幼・小・中・高	(研修予定人数) 140 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
義高	教育センター	4/8-4/9 (2日)	指導担当者に対し、専門的指導力と識見を高める研修を行い、その資質の向上を図る。	●本県教育課題、県教委の施策、指導の重点、生徒指導上の諸問題、教育課程実施上の諸問題、指導計画の改善、教科等の指導、等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全
74	福島県小・中学校教育課程研究協議会 各教科等担当指導主事事前協議会			(校種) 幼・小・中・高	(研修予定人数) 140 名														
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期												
義務	教育センター	8/7 (1日)	指導担当者に対し、専門的指導力と識見を高める研修を行い、その資質の向上を図る。	●本県教育課題、学校管理運営上の諸問題、生徒指導上の諸問題、教育課程実施上の諸問題、指導計画の改善、教科等の指導、等		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携	7 子ども理解	14 学校安全

(4) 特別研修

No.	研修名・講座名		(校種)		(研修予定人数)		名		
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期			
	場所	期日(日数)	目的	内容		資質・能力			
1	<b>全国へき地教育研究大会</b>		(校種) 小・中		(研修予定人数) 2		名		
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期			
義務	宮崎県	10/28-10/29 (2日)	へき地教育に関する指導内容、指導方法等に関する研修を行い、担当教員の指導力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文部科学省及び全国へき地教育研究会の計画による。</li> <li>●各地の発表会及び協議会での研修</li> <li>●会場校における発表会及び協議会での研修</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導
						3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性
						5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全		
2	<b>外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修(管理者用コース)</b>		(校種) 小・中 管理者		(研修予定人数) 1		名		
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期			
義務	三重県津市	10/4-10/7 (4日)	学校全体での外国人児童生徒の受け入れ体制の整備、関係機関との連携、日本語指導の方法等について、必要な知識等を修得させ、各学校や地域における本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●独立行政法人教職員支援機構の計画による。</li> <li>●日本語初期指導プログラム</li> <li>●教科指導実践プログラム</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導
						3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性
						5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全		
-	<b>外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修(日本語指導者用コース)※令和3年度から廃止</b>		(校種) 小・中		(研修予定人数) 1		名		
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期			
義務			学校全体での外国人児童生徒の受け入れ体制の整備、関係機関との連携、日本語指導の方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●独立行政法人教職員支援機構の計画による。</li> <li>●日本語初期指導プログラム</li> <li>●教科指導実践プログラム</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導
			※令和3年度～廃止			3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性
			研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。			5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全		
3	<b>小学校における外国語教育指導者養成研修</b>		(校種) 小		(研修予定人数) 2		名		
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期			
義務	オンライン	1/12-1/14	小学校の外国語活動を担当する教諭、指導主事等に、新学習指導要領における外国語活動及び外国語科の実施に向けた推進方策について理解を深めるとともに、教員の外国語教育を円滑に進めるための方策等を総合的に習得させることを通じて、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●独立行政法人教職員支援機構の計画による。</li> <li>●外国語活動の現状と外国語教育の今後の方向性</li> <li>●新教材の特色を知り、その活用について理解する。</li> <li>●外国語教育を円滑に進める指導力向上のための方策</li> <li>●外国語教育を推進するための指導者として本研修を振り返り、成果等をまとめるとともに、研修講師となるための課題を整理する。</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導
						3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性
						5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全		
4	<b>環境教育リーダー研修基礎講座</b>		(校種) 小・中		(研修予定人数) 1		名		
			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期			
義務	未定	未定 (1日)	環境教育・環境学習を推進する人材として、指導者としての能力を養成するとともに参加者相互の交流により、パートナーシップ構築の礎を築き環境教育・環境学習の推進に資する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループワーク</li> <li>●環境学習プログラム作成</li> <li>●事例発表</li> </ul>		1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導
						3 本県課題	10 特別支援	4 授業構想	11 同僚性
						5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全		

No.	研修名・講座名			(校種)	(研修予定人数)	名	
	場 所	期日・日数	目 的	内 容	資 質・能力		
5	<b>豊かな人間性と人づくりを目指す教員体験研修 (教員の長期社会体験研修)</b>			(校種)	小・中	(研修予定人数)	1 名
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
義務	県内の派遣先	未定 (1年)	教員を民間企業等に派遣し、顧客や利用者の具体的なニーズに配慮した業務の進め方及び責任者の行動様式等を体験することにより、実践的な指導力や学校運営の力量の充実を図る。	●派遣先企業等の特徴や業務の理解 ●配属部所における業務の体験 ●顧客のニーズに応じた独特の業務の進め方や目標達成に対する組織的な態勢などの体験	1 使命感等 2 教 養 等 3 本県課題 4 授業構想 5 指導方法 6 状況把握 7 子ども理解	8 集団づくり 9 生徒指導 10 特別支援 11 同 僚 性 12 組織運営 13 家地連携 14 学校安全	
6	<b>公立義務教育諸学校教員長期研修</b>			(校種)	小・中	(研修予定人数)	19 名
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
義務	上越教育大学 1年次2名 2年次2名	2年	学校教育に関する専門的知識及び技能を習得させ、本県教育の推進に資する教員を育成する。	●主題研究(教科教育、生徒指導、特別活動、道徳教育、学校臨床心理)	1 使命感等	8 集団づくり	
義務	福島大学 1年次7名 2年次8名				2 教 養 等	9 生徒指導	
7	<b>人権教育推進研修</b>			(校種)	小・中	(研修予定人数)	2 名
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
義務	独立行政法人 教職員支援機構 (つくば市)	6/8~6/10 (3日)	人権教育に関する効果的な指導方法等について研修を行うことにより、人権教育の指導的立場を担う教員を養成し、人権教育の指導方法等の改善・充実を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1 使命感等	8 集団づくり	
8	<b>教育相談基幹研修</b>			(校種)	小・中	(研修予定人数)	1 名
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
義務	独立行政法人 教職員支援機構 (つくば市)	6/2~6/4 (3日)	生徒指導上の諸問題の解決を図るため、より高度な教育相談の見識と技法を身に付ける等、教育相談の指導者の養成を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1 使命感等	8 集団づくり	
9	<b>生徒指導基幹研修</b>			(校種)	小・中	(研修予定人数)	各1 名
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
義務	独立行政法人 教職員支援機構 (つくば市)	5/18~5/20 (3日)	生徒指導の原理等に加えていじめ・不登校の問題に関する専門的、実践的研修を行い、学校におけるいじめ・不登校等への対応をより適切なものとなるよう指導者の養成を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1 使命感等	8 集団づくり	
10	<b>生徒指導研究推進協議会</b>			(校種)	都道府県・市町村教育委員会の職員	(研修予定人数)	2 名
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
義務	文部科学省	6月(未定) (1日)	生徒指導問題に関する生徒指導研究センターの研究成果等の広報・普及を図り、生徒指導の推進に資する。	●国立教育政策研究所生徒指導研究センターの計画による。	1 使命感等	8 集団づくり	

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)		名	
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
場 所		期日・日数	目 的	内 容			資質・能力		
11	<b>幼児教育指導者養成研修</b>			(校種) 幼・こ		(研修予定人数)		名	
	独立行政法人 教職員支援機構 (つくば市)		12月中旬に判明	幼児教育の指導者として必要な知識等を習得させ、各学校や地域における本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。			1 使命感等	8 集団づくり
12	<b>NIE全国大会</b>			(校種) 小・中・高		(研修予定人数)		各1 名	
	北海道 (札幌市)		8/16-8/17 (2日)	NIE実践者及びNIEに関心のある教師、新聞社のNIE担当者を対象に、教師間の経験交流、教師と新聞関係者との情報交換等を行うことを通し、NIE教育の推進を図る。	●一般社団法人日本新聞協会の計画による。			1 使命感等	8 集団づくり
13	<b>全国キャリア教育・進路指導担当者等 研究協議会</b>			(校種) 小・中・高		(研修予定人数)		3 名	
	国立オリンピック記念青 少年総合センター		5月下旬 (2日)	小学校・中学校・高等学校のキャリア教育・進路指導担当者等がキャリア教育・進路指導の在り方について研究協議、情報交換を行うことにより、今後のキャリア教育・進路指導の改善に資する。	●国立教育政策研究所の計画による。			1 使命感等	8 集団づくり
14	<b>教職員等中央研修①</b>			(校種) 小・中・高 校長・教頭・中堅教員等		(研修予定人数)		17 名	
	独立行政法人 教職員支援機構 (つくば市)		5～2月 (5日)	校長、副校長・教頭、中堅教員、教職経験4～8年目、教職経験10年前後の教員等に対し、学校の管理運営、学習指導などの諸問題について、それぞれの職務に必要な研修を行い識見を高めるとともに指導力の向上を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。			1 使命感等	8 集団づくり
15	<b>教職員等中央研修②</b>			(校種) 小・中・高 事務職員		(研修予定人数)		3 名	
	独立行政法人 教職員支援機構 (つくば市)		6～11月 (5日)	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校の事務局長、学校事務の共同実施におけるリーダー的な役割を担う担当者またはそれに準じるものであって、今後、学校経営、教育実践において各地区の中核として活躍が期待されるものに対して職務に必要な研修を行い、識見を高めるとともに指導力の向上を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。			1 使命感等	8 集団づくり
16	<b>産業・情報技術等指導者養成研修</b>			(校種) 中・高		(研修予定人数)		8 名	
	大学、研究所等		12月中旬に判明	産業技術の高度化や学習指導要領に対応した産業技術等の各分野について研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。			1 使命感等	8 集団づくり

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数) 名			
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
	場 所	期 日・日数	目 的	内 容		資 質・能 力			
17	キャリア教育指導者養成研修			(校種) 小・中・高		(研修予定人数) 3 名			
	富山県富山市			8/23-8/27 (5日)		進路指導担当教員等に対しキャリア教育に必要な専門知識等を習得させ、各地域において本研修を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導助言をする資質の向上を図る。		●独立行政法人教職員支援機構の計画による。 ●文部科学省の計画による。	
18	伝統音楽指導者研修会			(校種) 小・中・高		(研修予定人数) 3 名			
	東京都			未定 (2日)		音楽を担当する各地域における指導者等に対し、学習指導要領の趣旨を踏まえ、日本の伝統音楽について解説や講演及び実技研修を行い、学校における音楽教育の改善・充実を図る。		●文化庁の計画による。	
19	美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修			(校種) 中・高		(研修予定人数) 2 名			
	未定			未定		全国の小・中・高等学校等の教員と美術館の学芸員等が一同に会してグループ討議等を行うことにより、学校と美術館の一層の連携を図るとともに、美術館を活用した鑑賞教育の充実を図る。		●独立行政法人国立美術館の計画による。	
20	学校組織マネジメント指導者養成研修			(校種) 小・中・高・特支		(研修予定人数) 6 名			
	独立行政法人教職員支援機構 (オンライン)			①9/21-9/24 (9/23を除く) ②11/29-12/1		企業等で実施されている組織マネジメント手法を取り入れた研修を行い、本研修の内容を踏まえた研修の企画・立案、研修講師としての活動、学校への指導・助言等が行える教員の養成を目的とする。		●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	
-	言語活動指導者養成研修			(校種) 小・中・高		(研修予定人数) - 名			
	令和2年度～廃止			児童生徒の発達の段階を踏まえた言語能力の育成を図るために、国語科を		独立行政法人教職員支援機構			
21	道徳教育推進研修			(校種) 小・中 校長・教頭		(研修予定人数) 2 名			
	独立行政法人教職員支援機構 (つくば市)			①8/21-8/31 ②12/1-12/28		発達段階に応じた指導内容の重点化や道徳教育推進教師を中心とした指導体制の確立、特別の教科道徳の趣旨と内容に基づいた指導の充実等について研修を行うことにより、道徳教育を進めるための中核となる指導者を養成し、道徳教育の一層の充実を図る。		●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	

No.	研修名・講座名			(校種)	(研修予定人数)	名	
	場 所	期日・日数	目 的	内 容	資質・能力		
-	道徳教育指導者養成研修(ブロック別指導者研修)			(校種)	小・中・高	(研修予定人数)	- 名
	令和2年度～廃止			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
義高			発達段階に応じた指導内容の重点化や道徳教育推進教師を中心			1 使命感等	8 集団づくり
			人教職員支援機構			2 教養等	9 生徒指導
			このことにより、道徳教育を進めるための中核となる指導者を養成し、道徳教育の一層の充実を図る。			3 本県課題	10 特別支援
						4 授業構想	11 同僚性
						5 指導方法	12 組織運営
						6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全
22	全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座			(校種)	高	(研修予定人数)	1 名
	国立女性教育会館(埼玉県)	7/22-7/23(2日)	家庭クラブ顧問に対し、高等学校における学校家庭クラブ活動とその運営について研究討議等を行うことにより、指導者としての資質向上を図るとともに、家庭科の学習の充実を図る。			1 使命感等	8 集団づくり
高校			●文部科学省、全国高等学校家庭クラブ連盟の計画による。			2 教養等	9 生徒指導
						3 本県課題	10 特別支援
						4 授業構想	11 同僚性
						5 指導方法	12 組織運営
						6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全
23	全国高等学校農業クラブ指導者養成講座			(校種)	高	(研修予定人数)	1 名
	未定	8月予定(3日)	農業クラブ連盟の顧問に対し、農業クラブ活動とその運営について必要な知識・技術を習得させ、指導者としての資質の向上を図り、農業クラブの充実に資する。			1 使命感等	8 集団づくり
高校			●文部科学省、全国農業高等学校校長協会、日本学校農業クラブ連盟の計画による。			2 教養等	9 生徒指導
						3 本県課題	10 特別支援
						4 授業構想	11 同僚性
						5 指導方法	12 組織運営
						6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全
24	体育・保健体育指導力向上研修(東部ブロック)			(校種)	小・中・高	(研修予定人数)	7 名
	愛知県	5/19~5/21(3日)	体育指導者の資質の向上を図るとともに、体育・保健体育指導力向上研修における指導者の養成を図る。			1 使命感等	8 集団づくり
健康			●独立行政法人教職員支援機構の計画による			2 教養等	9 生徒指導
						3 本県課題	10 特別支援
						4 授業構想	11 同僚性
						5 指導方法	12 組織運営
						6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全
25	体力向上マネジメント指導者養成研修			(校種)	幼・小・中・高	(研修予定人数)	4 名
	独立行政法人教職員支援機構(つくば市)	8/10~8/12(3日)	児童生徒の体力向上に向けた企画・立案、研修講師としての活動、学校への指導・助言等が行える教員の養成を目的とする。			1 使命感等	8 集団づくり
健康			●独立行政法人教職員支援機構の計画による			2 教養等	9 生徒指導
						3 本県課題	10 特別支援
						4 授業構想	11 同僚性
						5 指導方法	12 組織運営
						6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全
26	食育指導者養成研修			(校種)	小・中	(研修予定人数)	各1 名
	独立行政法人教職員支援機構(つくば市)	10/25~10/27(3日)	学校において食育を推進するため各地域での研修企画、立案、実施、指導助言を行う指導者の養成を図る。			1 使命感等	8 集団づくり
健康			●独立行政法人教職員支援機構の計画による			2 教養等	9 生徒指導
						3 本県課題	10 特別支援
						4 授業構想	11 同僚性
						5 指導方法	12 組織運営
						6 状況把握	13 家地連携
						7 子ども理解	14 学校安全

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数)		名	
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期		
場 所	期 日・日数	目 的	内 容		資 質・能 力				
27	<b>健康教育指導者養成研修</b>			(校種) 小・中・高		(研修予定人数)		3 名	
	独立行政法人 教職員支援機構 (つくば市)			11/2～11/5 ※11/3を除く	健康教育に関する専門的研修を 行いその指導力の向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
28	<b>学校安全指導者養成研修</b>			(校種) 小・中・高		(研修予定人数)		4 名	
	独立行政法人 教職員支援機構 (つくば市)			8/2～8/31	安全教育に関する研修を行い、 学校安全(交通安全・生活安全・ 災害安全)に関する教育の充実 に資する。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
29	<b>学校給食の衛生管理に関する指導者講習会</b>			(校種) 小		(研修予定人数)		1 名	
	国立オリンピック記念 青少年総合センター			未定	学校給食における食中毒防止の 観点から学校給食の管理に関す る業務の指導的立場にある者を 対象として食中毒防止のための 専門的知識の習得を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
30	<b>国立特別支援教育総合研究所専門研修</b>			(校種) 特支		(研修予定人数)		6 名	
	独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 (横須賀市)			未定 (2か月)	特別支援教育を担当する教員に 対し、専門的知識及び技術を習 得させ、その資質及び指導力の 向上を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
31	<b>交流及び共同学習推進指導者研究協議会</b>			(校種) 特支		(研修予定人数)		2 名	
	独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 (横須賀市)			未定 (2日)	障がいのある児童生徒と障がいの ない児童生徒との交流及び共同 学習を推進する立場にある教職 員の研究協議を通じ、各地域に おける交流及び共同学習と障が いのある児童生徒への理解推進 を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期
32	<b>特別支援教育におけるICT活用に関わる 指導者研究協議会</b>			(校種) 特支		(研修予定人数)		1 名	
	独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 (横須賀市)			未定 (2日)	障がいのある幼児児童生徒に適 切な指導支援を行う上で必要な ICT活用をはじめとする教育支援 機器等活用について、指導的立 場にある教職員の研究協議等を通 じ、教育支援機器等の活用に関 する専門的知識を深め、各地域 における指導支援の充実を図る。	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期

No.	研修名・講座名			(校種)	(研修予定人数) 名					
	場 所	期日・日数	目 的	内 容	資質・能力	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	
33	<b>高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会</b>			(校種) 高	(研修予定人数) 2 名					
	独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 (横須賀市)	未定 (3日)	高等学校における通級による指導に関し、指導的立場にある教職員による研究協議等を通じ、担当者の専門性の向上及び高等学校における通級による指導の理解を図る。	●独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の計画による。	1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援
特支					4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携
					7 子ども理解	14 学校安全				
34	<b>特別支援学校「体育・スポーツ」実践指導者協議会</b>			(校種) 特支	(研修予定人数) 1 名					
	独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 (横須賀市)	未定 (2日)	特別支援学校において、体育・スポーツ活動に関して、指導的立場にある教員等による実践交流・情報交換を通じて、体育・スポーツ活動の専門性の向上及び特別支援学校を拠点とした体育・スポーツ活動の充実を図り、以て障がいのある児童生徒の自立や社会参加と生涯学習への基盤を養うための資質・能力の向上を図る。	●独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の計画による。	1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援
特支					4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携
					7 子ども理解	14 学校安全				
35	<b>就業支援実践研修</b>			(校種) 特支	(研修予定人数) 2 名					
	独立行政法人 高齢・障害・求職者 雇用支援機構 (会場未定)	未定 (1日)	特別支援学校において進路指導を担当している教員を対象とし、就業支援に関する支援技法等の習得を図り、キャリア教育の充実を目指す。	●独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の計画による。	1 使命感等	8 集団づくり	2 教養等	9 生徒指導	3 本県課題	10 特別支援
特支					4 授業構想	11 同僚性	5 指導方法	12 組織運営	6 状況把握	13 家地連携
					7 子ども理解	14 学校安全				

## Ⅱ 研究学校(地区)指定計画

### 1 はじめに

教育活動の展開に当たっては、「計画・実施・評価」のサイクルの中で、学校や教師が創意工夫等による改善を加えることにより、更に効果的にすることが必要である。

このため、各学校では、地域や学校あるいは児童生徒の実態に関する調査、これまで実施してきた教育活動についての評価等を通して、効果的な教育活動の展開を図るよう研究実践に努めなければならない。

学習指導要領に基づく教育課程の実施に当たって、総合的、実践的かつ先導的研究開発に関する参考資料を各学校において整備することは、重要なことである。

したがって、県教育委員会は、文部科学省の研究学校(地区)指定のほか、地域の実情等を考慮しながら、計画的に研究学校(地区)を指定して研究を委嘱し、その研究成果の普及を図り、個々の学校の創意ある教育活動の展開を促進・援助するものである。

### 2 研究学校(地区)指定計画の構想

#### (1) 研究学校(地区)指定

研究学校(地区)指定は、学校種別、規模、地域の実情等を考慮して行う。

#### (2) 研究領域

研究領域は、学校経営全般にわたるが、各教科・道徳・特別活動等の調整を図り、研究学校(地区)における全教職員が研究参加できる領域となることを原則とする。

#### (3) 研究の促進・援助

研究学校(地区)指定においては、開発に重点を置いた研究を推進するために、所管する課が次の事項について研究学校(地区)に対し、指導・援助する。

- ① 研究の進め方について
- ② 研究過程における実践について
- ③ 研究の総括的な評価の在り方について
- ④ 研究成果のまとめ方について

#### (4) 研究成果の普及

所管する課は、研究成果や情報を学校が継続して組織的に利用できるように、普及活動の強化を図り、その成果が各学校の実践に生かされるようにする。

#### (5) 経費

県教育委員会は、市町村立学校に対し、研究学校の調査・研究に必要な経費として、定める額を補助する。

#### (6) その他

研究学校(地区)の詳細な実施要領は所管する課が作成し、指定学校(地区)に配付する。

### 3 研究学校（地区）指定事業計画

#### (1) 文部科学省研究学校（地区）指定事業計画

課	No.	事業名	目的	指定期間	研究学校（地区）
義務教育課	1	人権教育開発事業	人権意識を培うための教育の在り方について、県教育委員会との連携・協力の下で幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する。	令和3年度	指定校（地区）
高校教育課	2	スーパーサイエンスハイスクール事業	科学技術・理科・数学教育を重点的に行う学校をスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として指定し、理科・数学に重点を置いたカリキュラム開発や大学・研究機関等との効果的な連携方策についての実践研究を行う。	平成29年度～令和3年度 平成31年度～令和5年度 令和3年度～令和7年度	福島高等学校 安積高等学校 会津学鳳高等学校・中学校（予定）
	3	地域との協働による高等学校教育改革推進事業	地域課題解決等の探究的な学びを実現する取組を行う学校を、地域との協働による高等学校教育改革推進事業指定校とし、新たな時代を地域から分厚く支えることのできる人材の育成を図る。	令和2年度～令和4年度	ふたば未来学園中学校・高等学校
健康教育課	4	つながる食育推進事業	令和3年度実施なし		
	5	がん教育実践事業（新規）	健康教育の一環としてがん予防の知識、がん患者への理解と共生、自他の命の大切さについての学びを深めるため、外部講師を活用しながらがん教育を実践し、新学習指導要領に対応したがん教育の在り方について研究し、効果的な指導方法の検討と授業モデルの普及を行う。	令和3年度	実践校

### Ⅲ 予定刊行物

(関係課・各センター主管予定刊行物)

課	No.	刊行物名	内容	発行月日	規格
義務教育課	1	外国語教育だより English Wind	小学校及び中学校等の外国語教育に係る情報提供	不定期	Web 配信
	2	道徳のとびら	道徳教育家庭用リーフレット	年2回(予定)	A4  Web 配信
	3	道徳のかけ橋	道徳教育教員用リーフレット	年3回(予定)	Web 配信
	4	道徳の礎	道徳教育推進校実施報告書	令和4年 3月	A4  Web 配信
義務教育課・高校教育課	1	学校教育指導の重点	令和3年度学校教育指導の重点	令和3年 2月	A4  Web 配信
	2	令和3年度福島県教職員特選論文集	教職員研究論文の優秀作品集	令和4年 2月	Web 配信
教育センター	1	初任者・新規採用者研修の手引 (幼稚園・こども園教諭、小・中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、学校栄養職員)	初任者・新規採用者研修の手引書	令和3年 3月	Web 配信
	2	初任者・新規採用者研修テキスト (幼稚園・こども園教諭、小・中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、学校栄養職員)	初任者・新規採用者指導教員のためのテキスト	令和3年 3月	Web 配信
	3	初任者・新規採用者研修研修資料	初任者・新規採用者指導教員のための研修資料	令和3年 3月	Web 配信
	4	2年次教員フォローアップ研修の手引 (小・中学校教諭、高等学校教諭)	2年次教員フォローアップ研修の手引書	令和3年 3月	Web 配信

課	No.	刊 行 物 名	内 容	発行月日	規格
教育センター	5	5年経験者研修の手引 (小・中学校教諭、高等学校教諭、 小・中学校養護教諭、県立学校養護教諭、 学校栄養職員)	5年経験者研修の手引書	令和3年 2月	Web 配信
	6	中堅教諭等資質向上研修の手引 (幼稚園・こども園教諭、小・中学校 教諭、高等学校教諭、小・中学校養護 教諭、県立学校養護教諭)	中堅教諭等資質向上研修の手 引書	令和3年 2月	Web 配信
	7	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言や教育研究 等についての紹介及び教育セ ンターからの案内	令和3年10月 令和4年 3月	Web 配信
	8	研究紀要	本県の喫緊の課題に関する調 査研究等についての結果報告 及び提言	令和3年 3月	A4
	9	小・中学校初任者研修メンター方式 による校内研修について	小・中学校初任者研修におけ る基礎知識及びメンターチー ムによる校内研修の実践例	令和3年 3月	A4
特別支援教育センター	1	初任者研修の手引 (特別支援学校教諭)	初任者・新規採用者研修の手 引書	令和3年 3月	Web 配信
	2	2年次教員フォローアップ研修の手引 (特別支援学校教諭)	2年次教員フォローアップ研 修の手引書	令和3年 3月	Web 配信
	3	5年経験者研修 —研修の手引— (特別支援学校用)	5年経験者研修の手引書	令和3年 3月	Web 配信
	4	中堅教諭等資質向上研修 —研修の手引— (特別支援学校用)	中堅教諭等資質向上研修の手 引書	令和3年 3月	Web 配信
	5	所報「特別支援教育」	教育関係者の提言及び研究・ 研修・相談事業の案内	令和3年 3月	Web 配信
	6	研究紀要	特別支援教育の今日的課題に 関する調査及び教育研究につ いての報告、本県の特別支援 教育の在り方について提言	令和3年 3月	Web 配信

## IV その他の研修

※各課、各所が主催する指定研修以外の教職員の資質向上を目的とする研修、協議会等

課	No.	名称	会場	期日等	対象	目的・内容
社会教育課	1	地域連携担当教職員等研修会	県内 7会場	6月 ～ 11月	小・中・高校・特別支援学校の地域連携担当教職員等	地域連携担当教職員の役割や社会に開かれた教育課程の作成等、地域と学校の連携・協働の推進に向けた研修を行う。
社教・義務	2	読書活動支援者育成事業	県内 7会場	未定	司書教諭 学校司書 読書ボランティア等	学校図書館の運営や子どもの読書に関わる専門的な知識・技能について研修し資質向上を図るとともに、学校、公立図書館、読書ボランティア等、子どもの読書活動を支えるための連携体制の構築を図る。
義務教育課	3	不登校・いじめ等対策地区別研修会 (スクールカウンセラー等地区別研修会)	県内 6会場	6月 ～ 8月	小・中学校教育相談担当者 生徒指導担当者等	スクールカウンセラーの有効な活用と不登校児童生徒への組織的な対応を目指した研修及びいじめ問題・発達障がい・児童虐待等今日的な課題に対応する研修を実施することにより、教育相談担当者や生徒指導担当者の資質向上を図る。
	4	道徳教育地区別推進協議会	県内 7会場	9月 ～ 11月	小・中・高・特別支援学校担当教員 関係指導主事	学習指導要領の趣旨並びに児童生徒、学校、家庭及び地域等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究を行い、その成果を普及することにより福島県における道徳教育の一層の充実に資する。
	5	域内学力向上担当者等研修会	県内 7会場	未定 (年1回)	担当教員 担当指導主事	各学校の授業改善、児童生徒の学習習慣・生活習慣の確立をねらいとした取組等についての協議等を行う。
	6	理科授業力アップ研修会	県内 7地区 21会場	未定 (各地区 年3回)	小学校教員 中学校理科担当教員	全国学力学習状況調査報告書や「授業スタンダード」、「理科学習指導プラン」に基づいた授業研究会を実施し、日々の理科授業の改善向上を図る。
	7	教育相談コーディネーター研修会	県内 4会場	6月 ～ 11月	小・中・高等学校の教諭及び養護教諭	各校において、教育相談コーディネーターを核としたチーム援助の推進に役立てる。
	8	ふくしま教育創造コンソーシアム	福島市	11/30	小・中学校において、学校を中心として教育課程編成を行う教員	自校の教育課題の解決に向けて、教科横断的な取組やカリキュラムの自己点検と評価に関する手法等を学び、解決に向けた方策を見いだすことを目的とする。

課	No.	名 称	会場	期日等	対 象	目 的・内 容
高 校 教 育 課	9	外国語指導助手の指導力等向上研修	福島 テルサ	10/25	J E Tプログラム A L T 小・中・高等学校 担当教員	A L T及び英語担当教員の指導力向上を図ることを目的とし、講演・講義・分科会等を行う。
	10	英語教育改善推進事業	研修協力 校等	4月 ～ 3月	小学校教員 中・高等学校英 語担当教員	研修協力校における英語指導及び学習評価の改善についての研究開発を行うとともに、英語指導・評価の改善の取組を推進する。
	11	学力向上のための教科指導力向上研究会	県内 3会場 (各1回)	未定 (年3回)	県立高校教諭等	大学有識者等を活用し、「言語活動の充実」を意識した、生徒の主体性や思考力・判断力等を育成する授業について、教員等が集い研究する。
	12	アクティブ・ラーナー養成研修会	東日本大 震災・原 子力災害 伝承館等	6月 2月 (年2回)	全県立高等学校 より各校教員1名	授業の質的転換を目指し、教員自らがアクティブ・ラーナーとしてALの視点を取り入れた授業を実践するために、ALの基本や学校としての取り組み方、県内の先進校の取組を学ぶ。
	13	学力向上連絡協議会	未定	未定	「オールふくしま 学力向上推進事業」「ふくしま創 生人財育成事業」対象校進路 指導主事、進路 担当者等	事業対象校が集い、本事業の実践報告や各校の進路指導の現状について情報を交換し、その後の進学指導に役立てる。
健康 教育 課	14	肥満に関する健康相談・個別の保健指導担当者研修会				令和3年度以降実施なし
特 別 支 援 教 育 課	15	地域支援担当者研修会	特別支援 教育 センター	4/23 9/3 (年2回)	特別支援学校教 員	センター的機能の目的や支援の内容等についての共通理解を図るとともに、研修・相談支援に関する専門的な研修を通し、地域支援担当者の資質の向上を図る。
	16	特別支援学校進路支援チーム会議	特別支援 教育 センター	5/11 10/1 12/8	特別支援学校教 員 進路指導担当者 等	特別支援学校高等部生徒の一般企業就労や職場定着等に関する課題解決を図るための研修等を実施し、各校における進路指導の充実を図る。
	17	医療的ケア実施校看護師等研修会	郡山支援 学校	7/28	特別支援学校教 員 看護師	医療的ケアを必要とする児童生徒の理解と適切な対応を行うため、より専門的な知識、技能を高める研修を行い、各実施校における医療的ケアの充実に資する。

# 教職員現職教育担当者会議設置要綱

(平成3年5月18日教育長決裁)

(設置)

第1条 「第6次福島県総合教育計画」の施策の基本方向に基づき、教職員研修の体系的・効果的推進の方途の検討などを行うため、「教職員現職教育担当者会議」（以下「担当者会議」という。）を教育庁内に設置する。

(組織等)

第2条 担当者会議は、下記の者をもって構成する。

教育総務課	企画主幹兼副課長	主任主査	担当管理主事
社会教育課	主幹	主任社会教育主事	担当社会教育主事
義務教育課	課長 主幹	主任管理主事	担当管理主事
		主任指導主事	担当指導主事
高校教育課	課長 主幹	主任管理主事	担当管理主事
		主任指導主事	担当指導主事
特別支援教育課	主幹兼副課長	主任管理主事	担当管理主事
		主任指導主事	担当指導主事
健康教育課	主幹	主任指導主事	担当指導主事
教育センター	研究・研修部長	主任指導主事	担当指導主事
特別支援教育センター	企画事業部長	主任指導主事	

2 担当者会議には、必要に応じ、前項以外の職員を参加させることができる。

3 担当者会議は、義務教育課長または高校教育課長が招集し、会議を主宰する。

(協議事項)

第3条 担当者会議は、次の事項について協議する。

- (1) 関係課、教育センター、特別支援教育センターが実施する教職員研修の目的・内容・方法及び日程等に関する事。
- (2) 教職員研修事業の研修人員に関する事。
- (3) 研究学校（地区）指定計画及び研究成果の普及に関する事。
- (4) 手引、資料等の刊行物の発行に関する事。
- (5) 調査研究の調整に関する事。
- (6) その他、教職員研修に関する事。

(実施)

第4条 担当者会議において立案された施策については、教育長の決裁を得て実施する。

(庶務)

第5条 担当者会議の庶務は、西暦における偶数年度については義務教育課において、西暦における奇数年度については高校教育課においてそれぞれ処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほかは、担当者会議の運営に関し必要な事項は義務教育課長及び高校教育課長が協議して定める。

## 附 則

- 1 この設置要綱は、平成 3 年 5 月 1 8 日から施行する。
- 2 教職員現職教育企画調整会議設置要綱（昭和 6 1 年 4 月 1 日施行）・現職教育計画推進委員会設置要綱（平成元年 4 月 2 8 日施行）は廃止する。
- 3 この設置要綱は、平成 5 年 4 月 2 1 日から施行する。
- 4 この設置要綱は、平成 7 年 6 月 1 2 日から施行する。
- 5 この設置要綱は、平成 8 年 4 月 9 日から施行する。
- 6 この設置要綱は、平成 9 年 6 月 1 3 日から施行する。
- 7 この設置要綱は、平成 1 1 年 4 月 1 5 日から施行する。
- 8 この設置要綱は、平成 1 2 年 6 月 1 6 日から施行する。
- 9 この設置要綱は、平成 1 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 10 この設置要綱は、平成 1 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 11 この設置要綱は、平成 1 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 12 この設置要綱は、平成 1 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 13 この設置要綱は、平成 1 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 14 この設置要綱は、平成 1 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 15 この設置要綱は、平成 2 0 年 4 月 1 日から施行する。
- 16 この設置要綱は、平成 2 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 17 この設置要綱は、平成 2 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 18 この設置要綱は、平成 2 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 19 この設置要綱は、平成 2 9 年 4 月 1 日から施行する。
- 20 この設置要綱は、平成 3 0 年 4 月 1 日から施行する。

## 教育公務員特例法（抄）

（研 修）

第21条 教育公務員は、その職務を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。

2 教育公務員の任命権者は、教育公務員（公立の小学校等の校長及び教員（臨時的に任用された者その他の政令で定めるものを除く。以下この章において同じ。）を除く。）の研修について、それに要する施設、研修を奨励するための方途その他研修に関する計画を樹立し、その実施に努めなければならない。

（研修の機会）

第22条 教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。

2 教員は、授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。

3 教育公務員は、任命権者の定めるところにより、現職のまま、長期にわたる研修を受けることができる。

（校長及び教員としての資質の向上に関する指標）

第22条の3 公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該校長及び教員の職責、経験及び適正に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する指標（以下「指標」という。）を定めるものとする。

（教員研修計画）

第22条の4 公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指標を踏まえ、当該校長及び教員の研修について、毎年度、体系的かつ効果的に実施するための計画（以下この条において「教員研修計画」という。）を定めるものとする。

2 教員研修計画においては、おおむね次に掲げる事項を定めるものとする。

- 一 任命権者が実施する第23条第1項に規定する初任者研修、第24条第1項に規定する中堅教諭等資質向上研修その他の研修（以下この項において「任命権者実施研修」という。）に関する基本的な方針
- 二 任命権者実施研修の体系に関する事項
- 三 任命権者実施研修の時期、方法及び施設に関する事項
- 四 研修を奨励するための方途に関する事項
- 五 前各号に掲げるもののほか、研修の実施に関し必要な事項として文部科学省で定める事項

（初任者研修）

第23条 公立の小学校等の教諭等の任命権者は、当該教諭等（政令で指定する者を除く。）に対して、その採用（現に教諭等の職以外の職に任命されている者を教諭等の職に任命する場合を含む。附則第四条第一項において同じ。）の日から一年間の教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修（以下「初任者研修」という。）を実施しなければならない。

2 任命権者は、研修を受ける者（次項において「初任者」という。）の所属する学校の副校長、教頭、主幹教諭（養護又は栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭を除く。）、指導教諭、教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭又は講師のうちから、指導教員を命じるものとする。

3 指導教員は、初任者に対して教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項について指導及び助言を行うものとする。

（中堅教諭等資質向上研修）

第24条 公立の小学校等の教諭等（臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。以下この項において同じ。）の任命権者は、当該教諭等に対して、個々の能力、適性等に応じて、公立の小学校等における教育に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図るために必要な事項に関する研修（以下「中堅教諭等資質向上研修」という。）を実施しなければならない。

2 任命権者は、中堅教諭等資質向上研修を実施するに当たり、中堅教諭等資質向上研修を受ける者の能力、適性等について評価を行い、その結果に基づき、当該者ごとに中堅教諭等資質向上研修に関する計画書を作成しなければならない。



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.